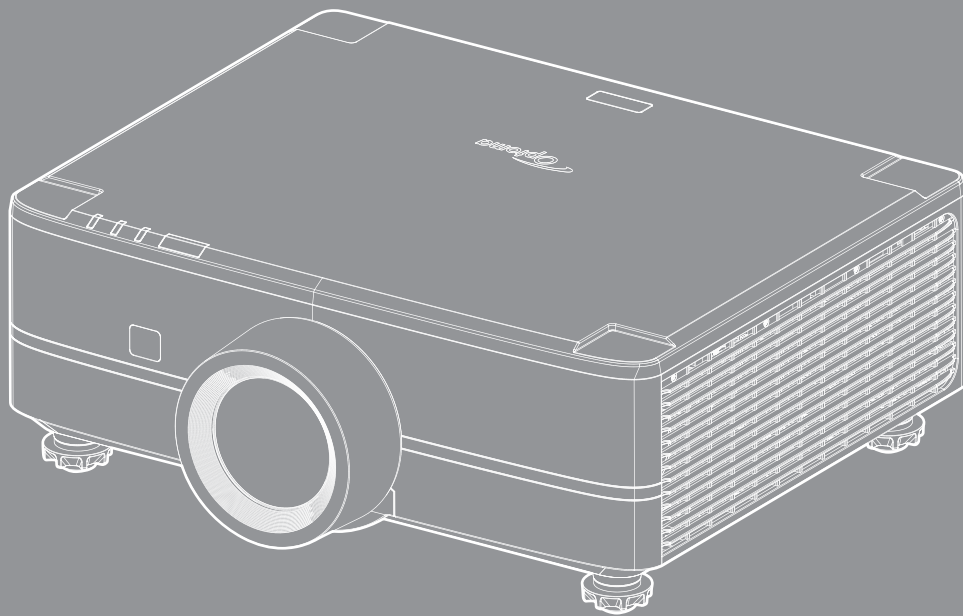




DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル



目次



安全	4
安全に関するご注意	4
電池の安全に関する注意事項	6
レンズの清掃	6
レーザー放射安全情報	7
FCC	8
EU 諸国への適合宣言	8
WEEE	9
CTUVUS	9
仕様および警告ラベル	9
著作権	10
免責条項	10
商標認識	10
はじめに	11
パッケージの内容	11
標準アクセサリ	11
オプションのアクセサリ	11
製品の各部名称	12
接続	13
キーパッド	14
リモコン	15
設定と設置	16
プロジェクターを設置する	16
ソースをプロジェクターに接続する	18
投影画像の調整	19
投影画像のシフトを調整する	20
プロジェクターのズームおよびフォーカスを調整する	22
リモート設定	23
プロジェクターを使用する	25
プロジェクターの電源を入れる/切る	25
入力ソースを選択する	28
ランチャー画面の概要	29
メニューナビゲーションと機能	30
OSD メニューツリー	31
イメージメニュー	39
ディスプレイメニュー	44
設定メニュー	47
オーディオメニュー	51

コントロールメニュー	52
情報メニュー	65
システム設定	66
入力ソースを手動で選択する	71
アプリの選択	71

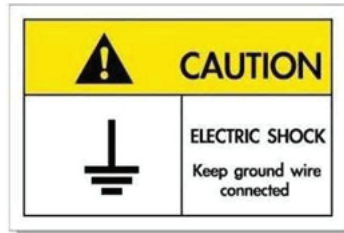
追加情報 74

対応解像度.....	74
画像サイズと投影距離.....	80
プロジェクターの寸法と天井取り付け	81
IR リモートコード	82
トラブルシューティング	84
警告インジケータ	86
仕様	87
Optoma 社グローバルオフィス.....	89

安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



- ・ 感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。
- ・ この装置には、3ピン接地タイプの電源プラグが装備されています。
- ・ 電源プラグの接地ピンを取り外さないでください。
- ・ これは安全機能です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、電気技師にお問い合わせください。
- ・ 接地プラグの目的を無効にしないでください。


安全に関するご注意



- ・ あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- ・ このプロジェクターは、IEC/EN 60825-1:2014 およびリスクグループ 2 のクラス 1 レーザー製品であり、IEC 62471-5:2015 の要件を備えています。
- ・ お子様の監視: 凝視しないこと、光学補助具を使用しないこと!
- ・ お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターの光線を凝視しないように注意してください。
- ・ 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は注意してください。
- ・ ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにユーザーに通知してください。
- ・ 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒータブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- ・ 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- ・ プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- ・ 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - (i) 室温が 0°C ~ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
 - (ii) 相対湿度は最大 80% です
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。

- 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
- 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
 - 装置を落とした。
 - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
 - プロジェクターに液体をこぼした。
 - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
 - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本プロジェクターの修理は、認定されたサービススタッフのみに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本プロジェクターは、光源の寿命を自動的に検知します。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 間違ったタイプの電池に交換すると火災や爆発の危険性があります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。
- 内部の電気部品や光学部品の損傷を防ぐため、プロジェクターへの照射にはレーザーやその他の高集光照明装置を使用しないでください。

電池の安全に関する注意事項

⚠ WARNING	
<ul style="list-style-type: none">• INGESTION HAZARD: This product contains a button cell or coin battery.• DEATH or serious injury can occur if ingested.• A swallowed button cell or coin battery can cause Internal Chemical Burns in as little as 2 hours.• KEEP new and used batteries OUT OF REACH of CHILDREN• Seek immediate medical attention if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body.	

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。

注意! 表面が熱いので触れないでください



- プロジェクターの動作中は、プロジェクターのレンズの前に手、顔、その他の物を置かないでください。そうすると、対象物が極度に熱くなり、光出力から放出される熱によって火災や損傷が発生する可能性があります。レンズの前に置かれたものが過熱して燃えたり、火災の原因となる可能性があります。
- レンズに溜まったほこりや汚れを取り除くために可燃性ガスを噴霧しないでください。火災の原因となる可能性があります。



警告: レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。



警告: レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。



警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

レーザーに関する通知

IEC 60825-1:2014/EN 60825-1+A11/EN50689:2021 クラス 1 民生用レーザー製品、IEC 62471-5:2015 リスクグループ 2。

この製品は民生用レーザー製品としての使用を目的としており、EN 50689:2021 に準拠しています。

クラス 1 民生用レーザー製品

EN 50689:2021

レーザー放射安全情報

- IEC 62471-5:Ed.1.0 で定義されているリスクグループ 2 LIP としての適合性を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。詳細については、2019年5月8日付のレーザー通知第57号を参照してください。
- IEC 60825-1:2014/EN 60825-1+A11/EN50689:2021 クラス 1 民生用レーザー製品、IEC 62471-5:2015 リスクグループ 2

IEC 60825-1:2014, EN 60825-1:2014+A11:2021, EN 50689:2021 CLASS 1 CONSUMER LASER PRODUCT RISK GROUP 2, Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for conformance as a Risk Group 2 LIP as defined in IEC 62471-5:Ed.1.0. For more information see Laser Notice No. 57, dated May 8, 2019.
 IEC 60825-1:2014 等級1雷射產品RG2危險等級
 IEC 60825-1:2014 1类激光产品RG2危险等级

Optoma
 DLP Projector 投影机 프로젝터
 Regulatory No.: XXXXXX
 Input / 入力: 輸入 / 入力: AC 100-240V~, 50/60Hz, 3.8A
 CAN ICES-003/BUMC-003(B)
 EU Rep.:
 Optoma Benelux BV
 European 770 D, 1383 BM Almere, The Netherlands
 UK Rep.:
 Optoma Europe Ltd
 1 Bourne End Mills Hemel Hempstead, Herts, UK
 Manufacturer: Optoma Corporation
 Address: 12 F. No. 213, Sec. 3, Bain Rd., Xindian Dist., New Taipei City 221, Taiwan
 This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
 (1) This device may not cause harmful interference, and
 (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
 Made in China 製造地: 中国 型号: 投影机

WARNING: MOUNT ABOVE THE HEADS OF CHILDREN!
 Do not look into the beam less than 1m.
 No direct eye exposure to the beam is permitted.

“AVERTISSEMENT: INSTALLER AU-DESSUS DE LA TETE DES ENFANTS.”
 Avertissement supplémentaire contre l'exposition oculaire pour des expositions à une distance de moins de 1m.

「警告：安裝高於兒童頭頂！」
 請勿在距離小於1米的範圍內直視光束・嚴禁眼睛直接暴露於光束中。

「警告：安裝高于儿童头顶！」
 请勿在距离小于1米的范围内直视光束・严禁眼睛直接暴露于光束中。



- お子様を監視するための追加の指示、凝視しないこと、光学補助具を使用しないこと。
- お子様の手の届かないところに設置するように指示してください。
- 警告: お子様の目線より上に設置してください。お子様の目線の上に設置する場合、この製品と共に天井マウントを使用することをお勧めします。
- 注意 – ここで指定されているもの以外の制御や調整を使用したり、手順を実行すると、危険な放射線被ばくが生じる可能性があります。
- プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見れる投影範囲に人がいないことを確認してください。
- プロジェクターの光路に物 (拡大鏡など) を近づけないようにしてください。レンズから投射される光路は広範囲にわたります。したがって、レンズからの光の向きを変えるあらゆる種類の異物が、火災または目の傷害などの予期せぬ結果を引き起こす可能性があります。
- ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- レーザー放射曝露による存在を引き起こす可能性がありますので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクターがオンの間、光線を凝視しないでください。明るい光により、目が恒久的に損傷する可能性があります。

制御、調整、操作手順を遵守しないと、レーザー放射曝露により、損害が発生する可能性があります。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします：

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2025

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

Dolby、Dolby Vision、ダブル D 記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。Dolby Laboratories Licensing Corporation からのライセンスに基づいて製造されています。未発表の機密資料。Copyright © 2013–2024 Dolby Laboratories. All rights reserved.

この製品は、HDR10+ プロジェクター デバイス バージョン 1.1 に準拠しています。HDR10+™ ロゴは、米国およびその他の国における HDR10+ Technologies, LLC の商標または登録商標です。

FILMMAKER MODE™ ロゴは UHD Alliance, Inc. の商標です。

IMAX® は IMAX Corporation の登録商標です。

IMAX Corporation からのライセンスに基づき製造されています。IMAX® は、米国およびその他の国における IMAX Corporation の登録商標です。DTS 特許については、<http://patents.dts.com> を参照してください。DTS, Inc. からのライセンスに基づいて製造されています (米国/日本/台湾に本社を置く企業の場合)。または DTS Licensing Limited からのライセンスに基づいて製造されています (その他のすべての企業の場合)。DTS および DTS ロゴは、米国およびその他の国における DTS, Inc. の登録商標または商標です。© 2020 DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

DTS 特許については、<HTTP://XPERI.COM/DTS-PATENTS/> を参照してください。DTS, INC. およびその関連会社からのライセンスに基づいて製造されています。DTS、DTS-HD MASTER AUDIO、およびDTS-HDロゴは、米国およびその他の国におけるDTS, INC.およびその関連会社の登録商標または商標です。© DTS, INC. およびその関連会社。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

はじめに

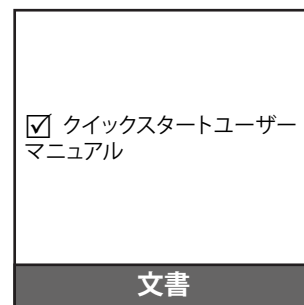
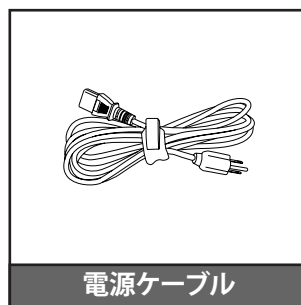
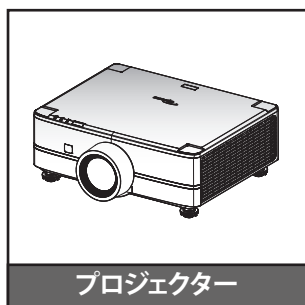
Optoma レーザープロジェクターをお買い上げいただきありがとうございます。機能の完全なリストについては、当社の Web サイトの製品ページにアクセスしてください。ここでは、FAQ の追加情報やドキュメントも掲載されています。

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下記に記載されている標準付属品がすべて揃っていることを確認してください。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

標準アクセサリ

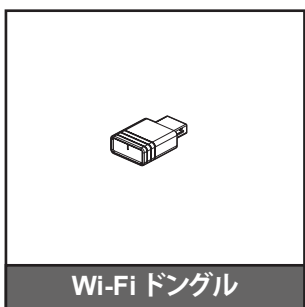
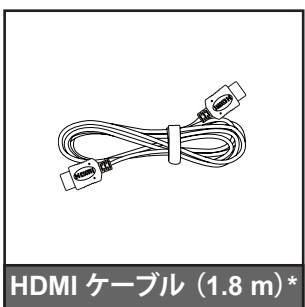


注:

- 設定情報、ユーザーマニュアル、保証情報、製品の更新にアクセスするには、QR コードをスキャンするか、次の URL にアクセスしてください。
<https://www.optoma.com/support/download>
- 電源ケーブルとオプションのアクセサリは国によって異なる場合があります。



オプションのアクセサリ

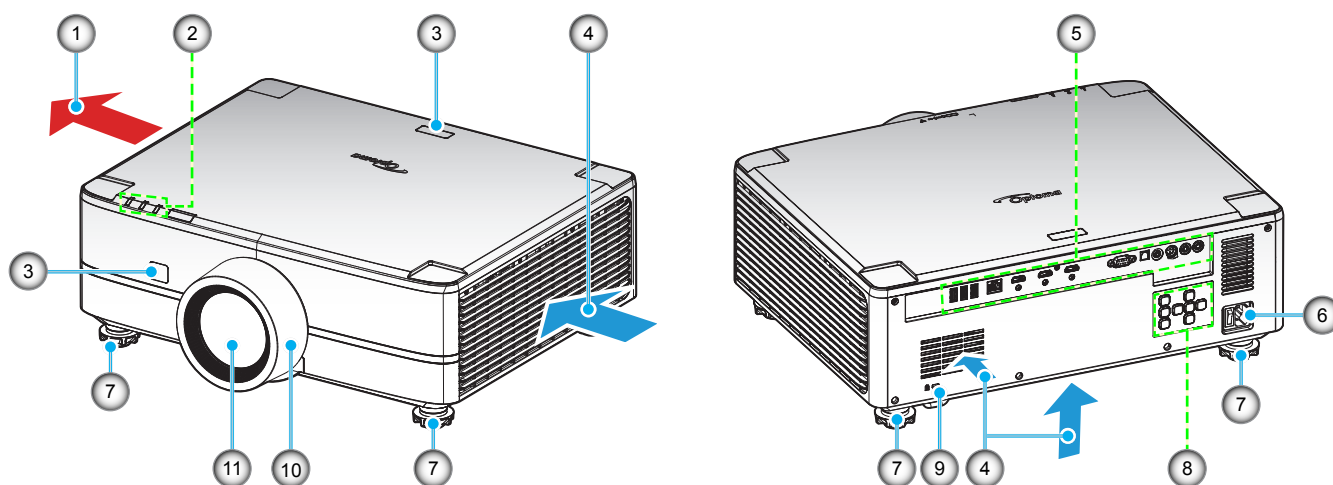


注:

- オプションのアクセサリは、地域および購入したプロジェクターのモデルによって異なる場合があります。
- * HDMI 2.1a 認証を取得した「超高速 HDMI ケーブル」をご使用ください。

はじめに

製品の各部名称



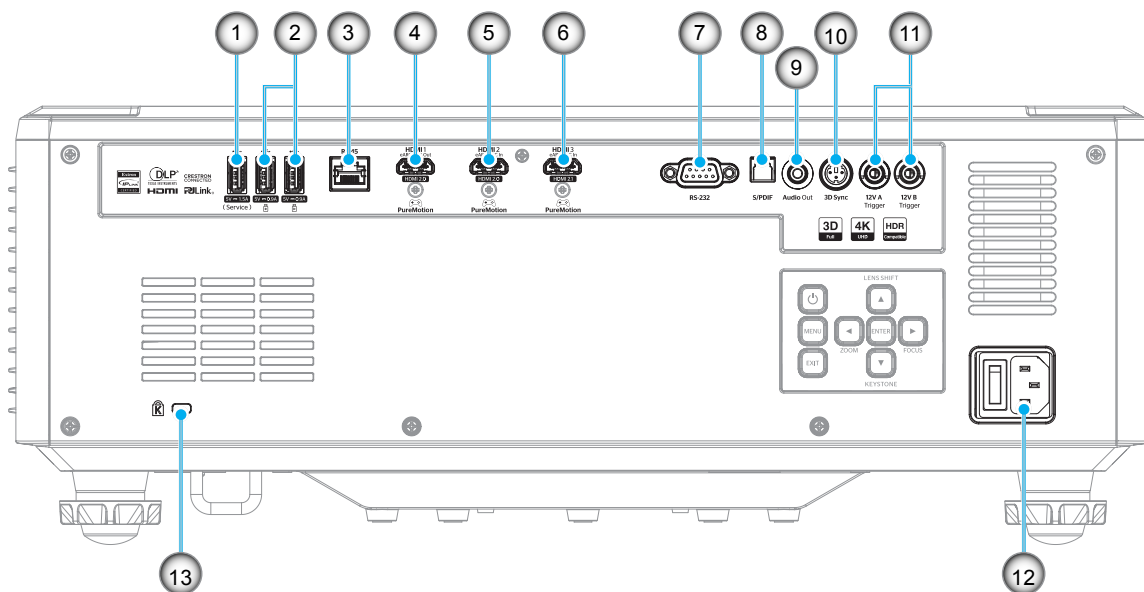
注:

- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
- プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 50 cm 隙間を空けてください。

番号	項目	番号	項目
1.	換気 (排気口)	7.	チルト調整フット
2.	LED インジケーター	8.	コントロールパネル
3.	赤外線レシーバー	9.	Kensington™ ロックポート
4.	換気 (吸気口)	10.	デコリング
5.	入/出力	11.	投影レンズ
6.	電源ソケット/電源スイッチ		

はじめに

接続



番号	項目	番号	項目
1.	サービスおよび USB 端子 (電源 5 V \rightarrow 1.5 A) \times 1	8.	S/PDIF 端子
2.	USB 端子 (電源 5 V \rightarrow 0.9 A) ^{*2}	9.	オーディオ出力端子
3.	LAN コネクタ 10/100 Mbps ^{*3}	10.	3D 同期入力端子
4.	HDMI 1 (v2.0) コネクタ ^{*4}	11.	12V 出力コネクタ
5.	HDMI 2 (v2.0) コネクタ ^{*4}	12.	電源ソケット/電源スイッチ
6.	HDMI 3 (v2.1) コネクタ ^{*5}	13.	Kensington™ ロックポート
7.	RS-232C 端子		

注: (*1) サービス用。スタンバイモードでは電力出力はありません。

(*2) マルチメディアおよび Wi-Fi ドングルをサポートします。

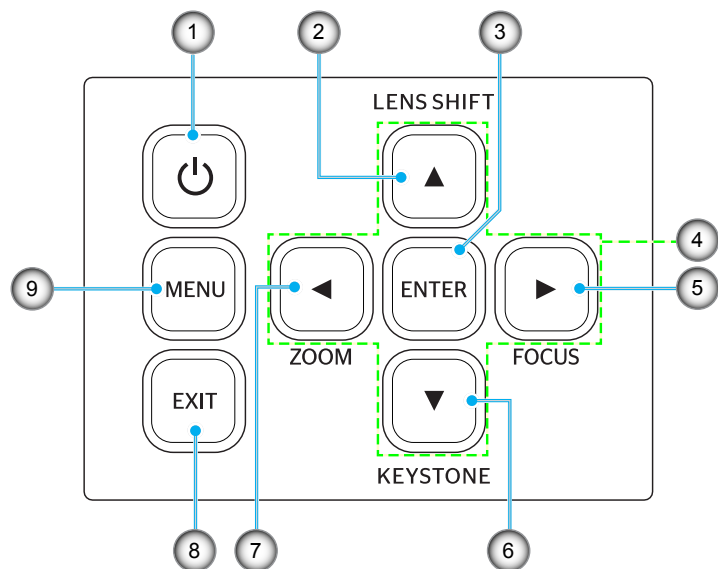
(*3) LAN 制御、IoT 制御、FOTA (FW アップグレード) をサポートします。

(*4) 最大 3840x2160/60Hz の入力、HDR10+、ARC/eARC 出力をサポートします。

(*5) 最大 3840x2160/120Hz の入力、HDR10+、ARC/eARC の入力をサポートします。HDMI 2.1a 認証の「超高速 HDMI ケーブル」(最長 5 m) をご使用ください。

はじめに

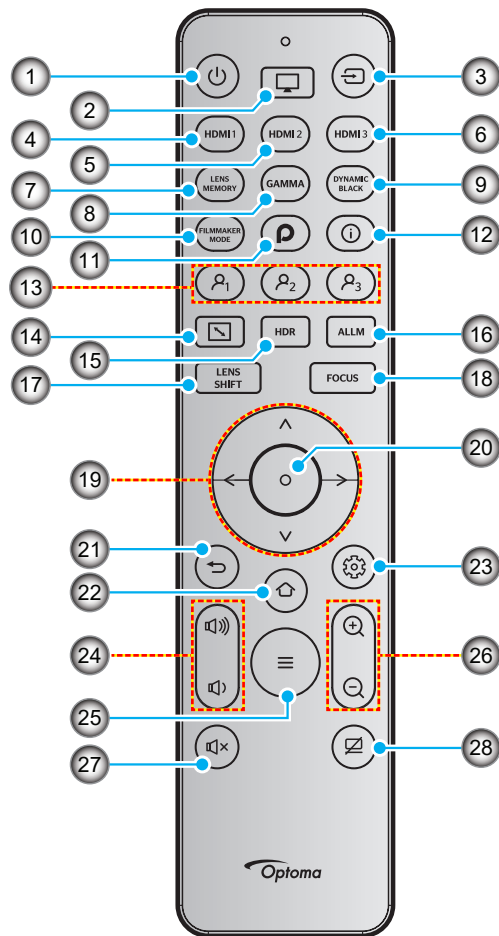
キーパッド



番号	項目	番号	項目
1.	電源ボタン	6.	キーストーン補正
2.	レンズシフト	7.	ズーム
3.	決定	8.	戻る
4.	4方向選択キー	9.	メニュー
5.	フォーカス		

はじめに

リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	電源	15.	HDR
2.	ピクチャモード	16.	ALLM
3.	ソース	17.	レンズシフト
4.	HDMI1	18.	フォーカス
5.	HDMI2	19.	4方向選択キー
6.	HDMI3	20.	決定
7.	レンズメモリ	21.	戻る
8.	ガンマ	22.	ホーム/ランチャー
9.	ダイナミックブラック	23.	Device Setup メニュー
10.	フィルムメーカーモード	24.	音量 +/-
11.	PureEngine Ultra	25.	メニュー
12.	情報	26.	デジタルズーム -/+
13.	ユーザー 1 / ユーザー 2 / ユーザー 3 (割り当て可能)	27.	ミュート
14.	アスペクト比	28.	AV 消音

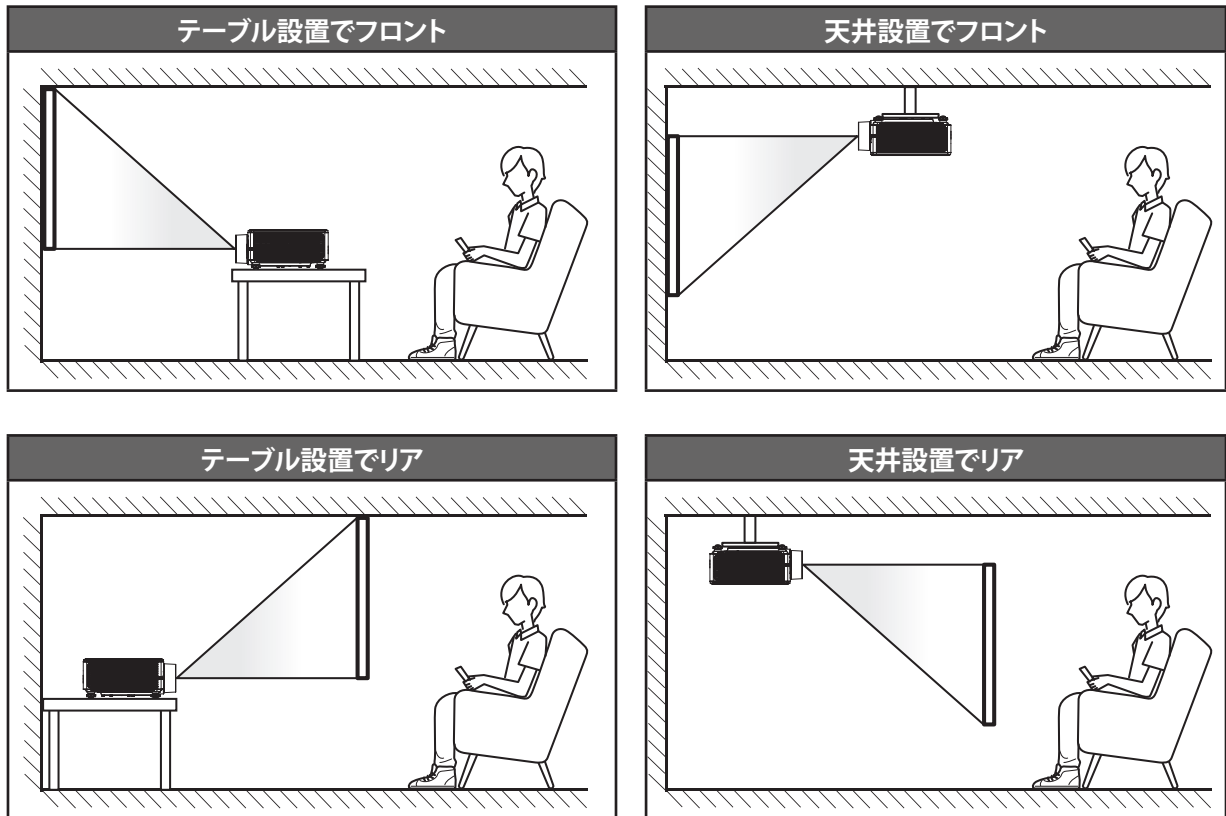
注: これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。

設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して90度/垂直にします。

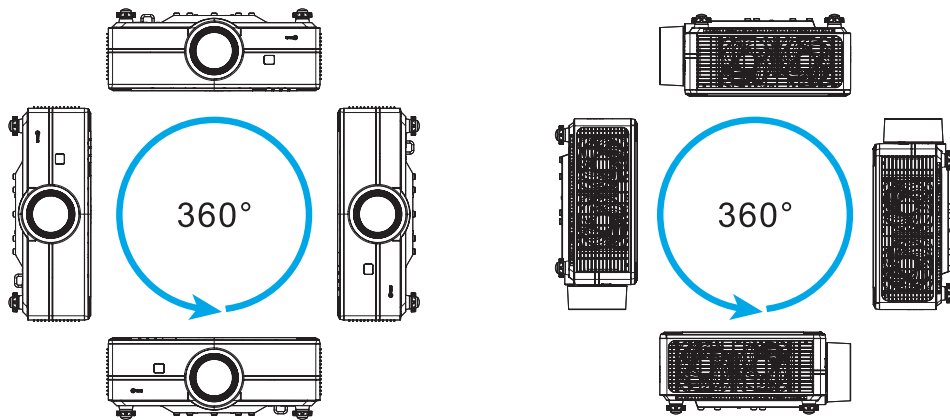
- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、～80ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、～80ページの距離表を参照してください。

注: プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投影される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。

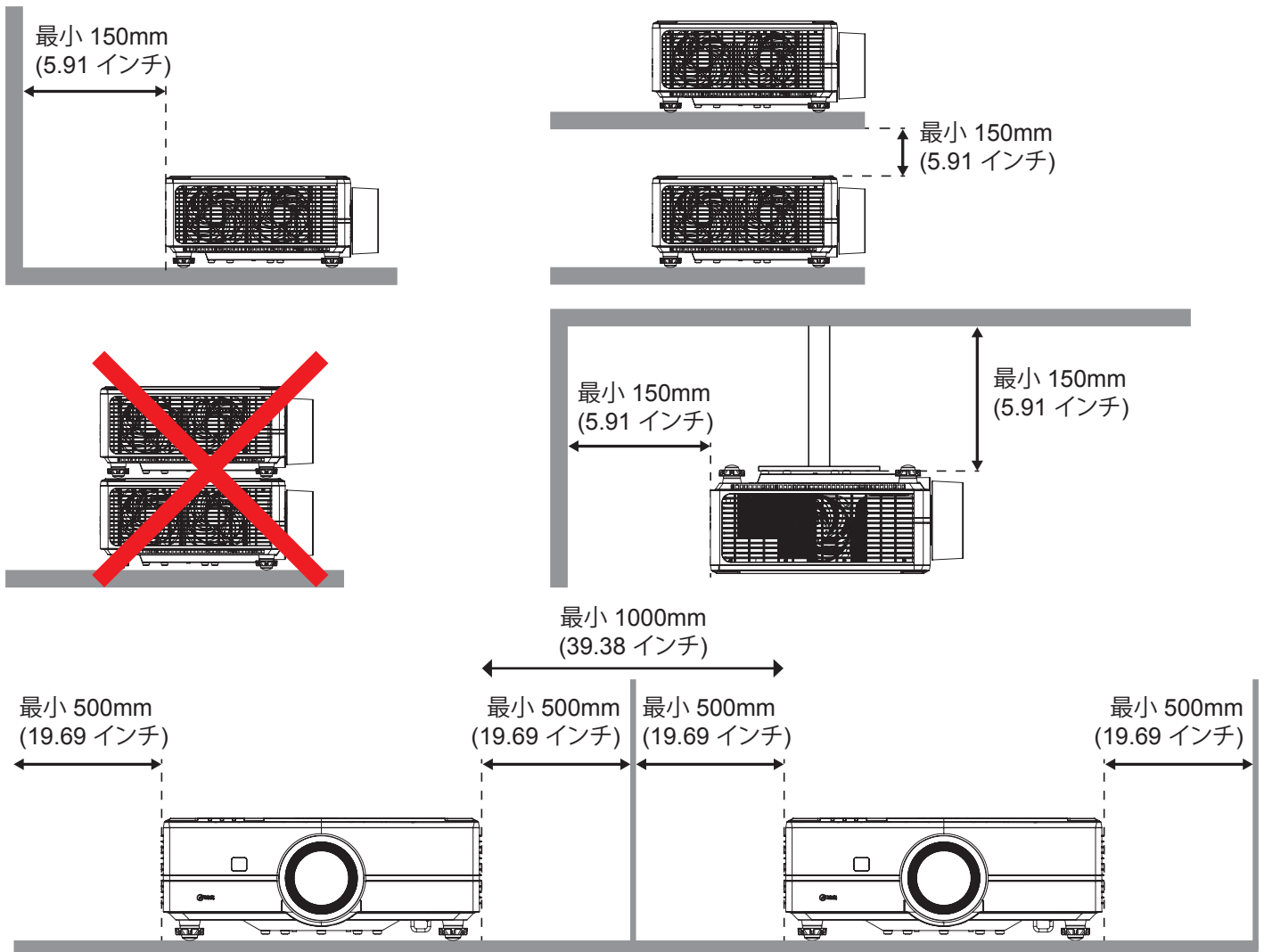
設定と設置

プロジェクターの取り付けに関する注意

- 360° の自由方向操作



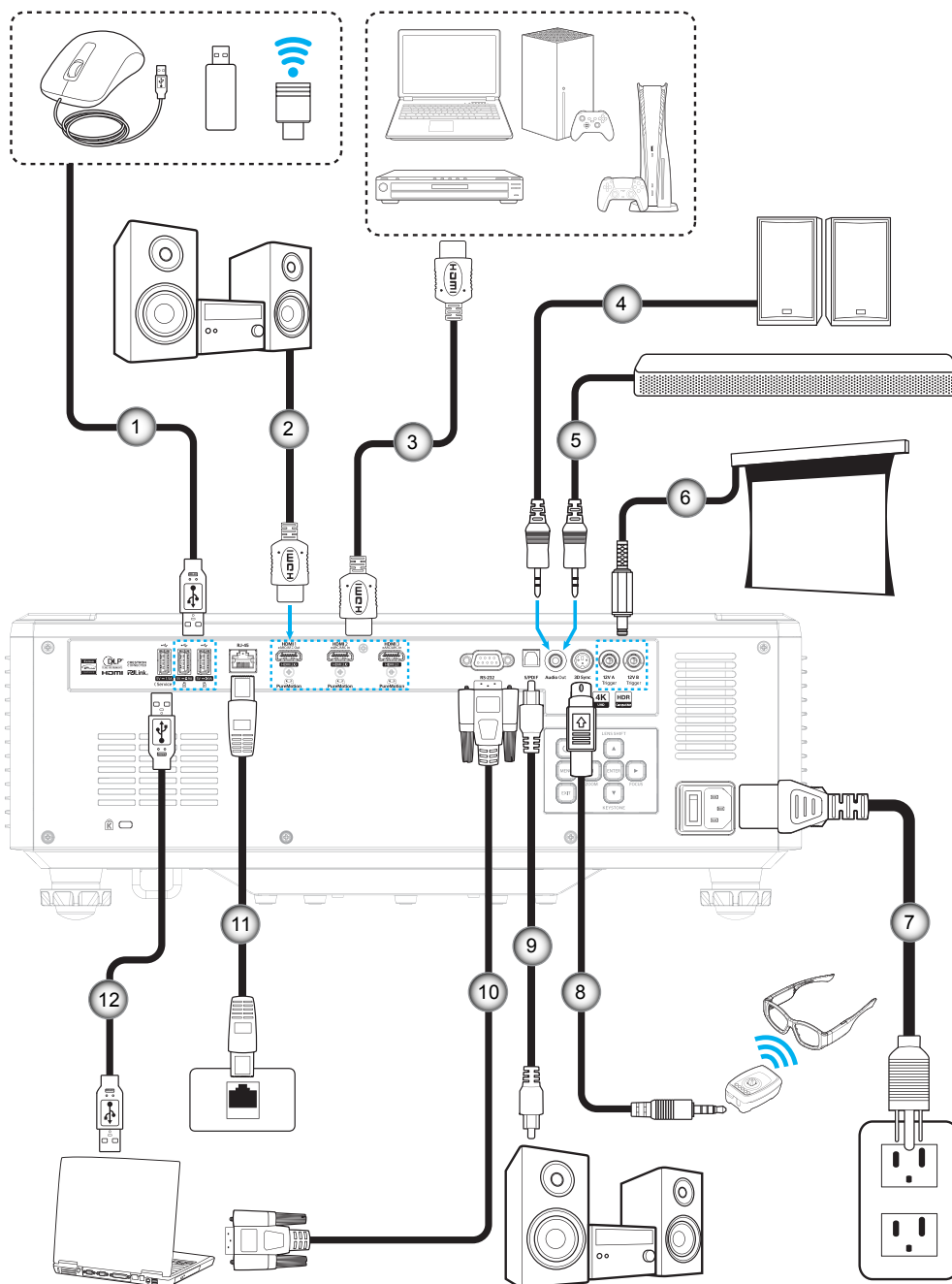
- 排気口の周囲に少なくとも 30 cm のスペースを確保してください。



- 吸気口が排気口からの熱い空気を取り込まないようにしてください。
- 密閉された空間でプロジェクターを操作する場合は、プロジェクターが動作している間は、筐体内の周囲温度が動作温度を超えないようにし、吸気口と排気口に障害物がないようにしてください。
- エンクロージャの温度が許容動作温度範囲であっても、デバイスがシャットダウンする可能性があるため、プロジェクターが排気を取り込まないよう、すべてのエンクロージャは認定熱評価に合格する必要があります。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目	番号	項目
1.	USB ケーブル	7.	電源コード
2.	HDMI ケーブル	8.	3D エミッターケーブル
3.	HDMI ケーブル	9.	S/PDIF 出力ケーブル
4.	スピーカーケーブル	10.	RS232 ケーブル
5.	オーディオケーブル	11.	RJ-45 ケーブル
6.	12V DC ジャック	12.	USB ケーブル

注: 最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、最大 5 メートルの高速またはプレミアム認定 HDMI ケーブルを使用してください。

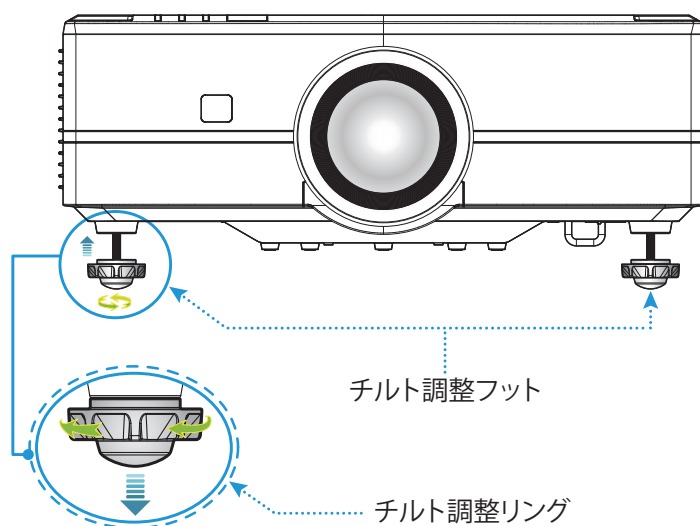
設定と設置

投影画像の調整

画像の高さ

本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。

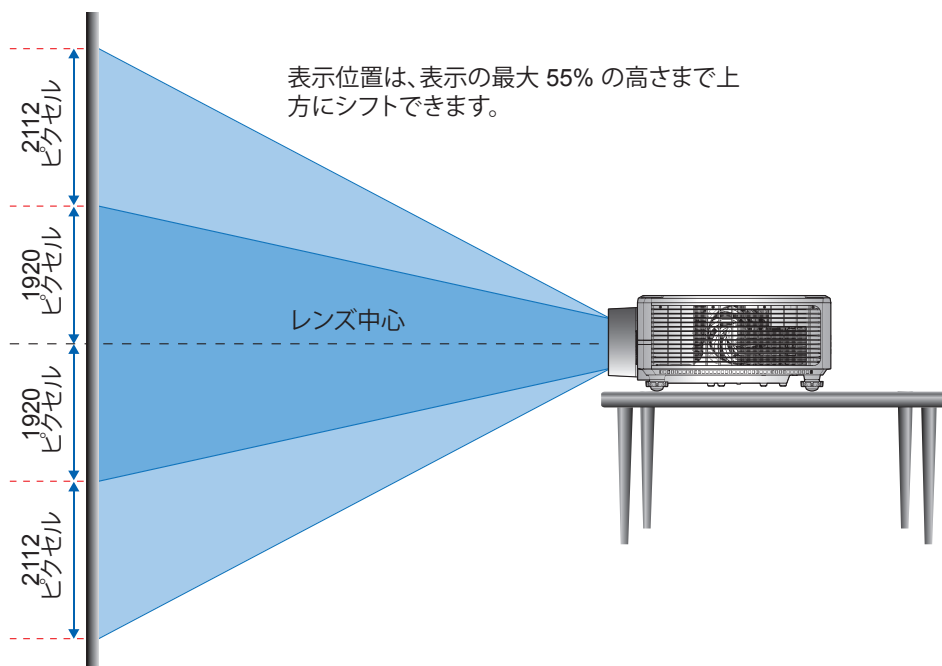


設定と設置

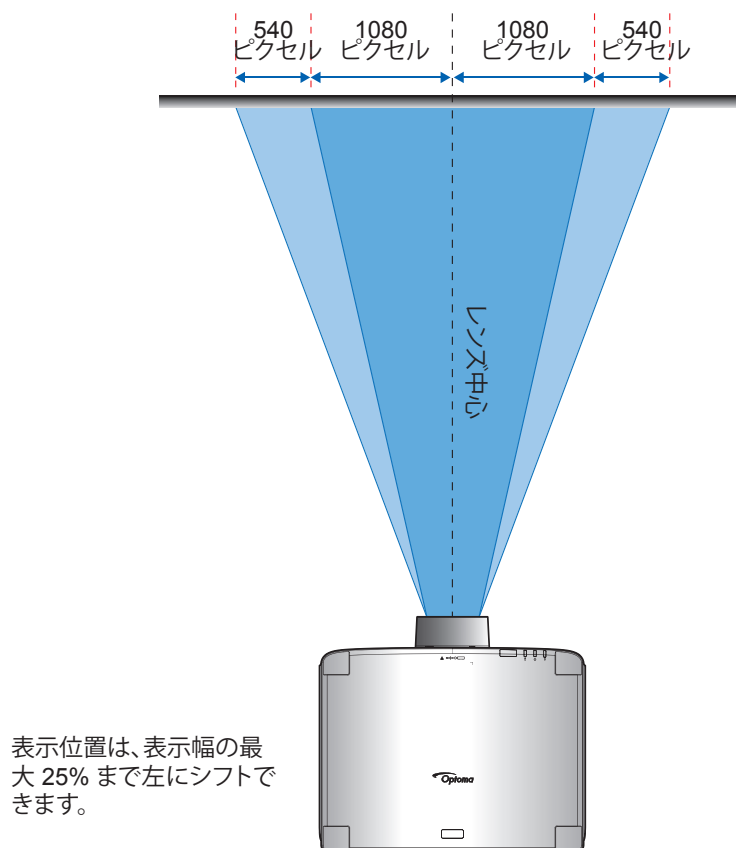
投影画像のシフトを調整する

モーター駆動のレンズシフト機能により、投影レンズを上下左右に移動できます。この機能により、スクリーン上での画像の配置が容易になります。レンズシフトは通常、画像の高さまたは幅のパーセンテージとして表されます。下図を参照してください。

垂直レンズシフト



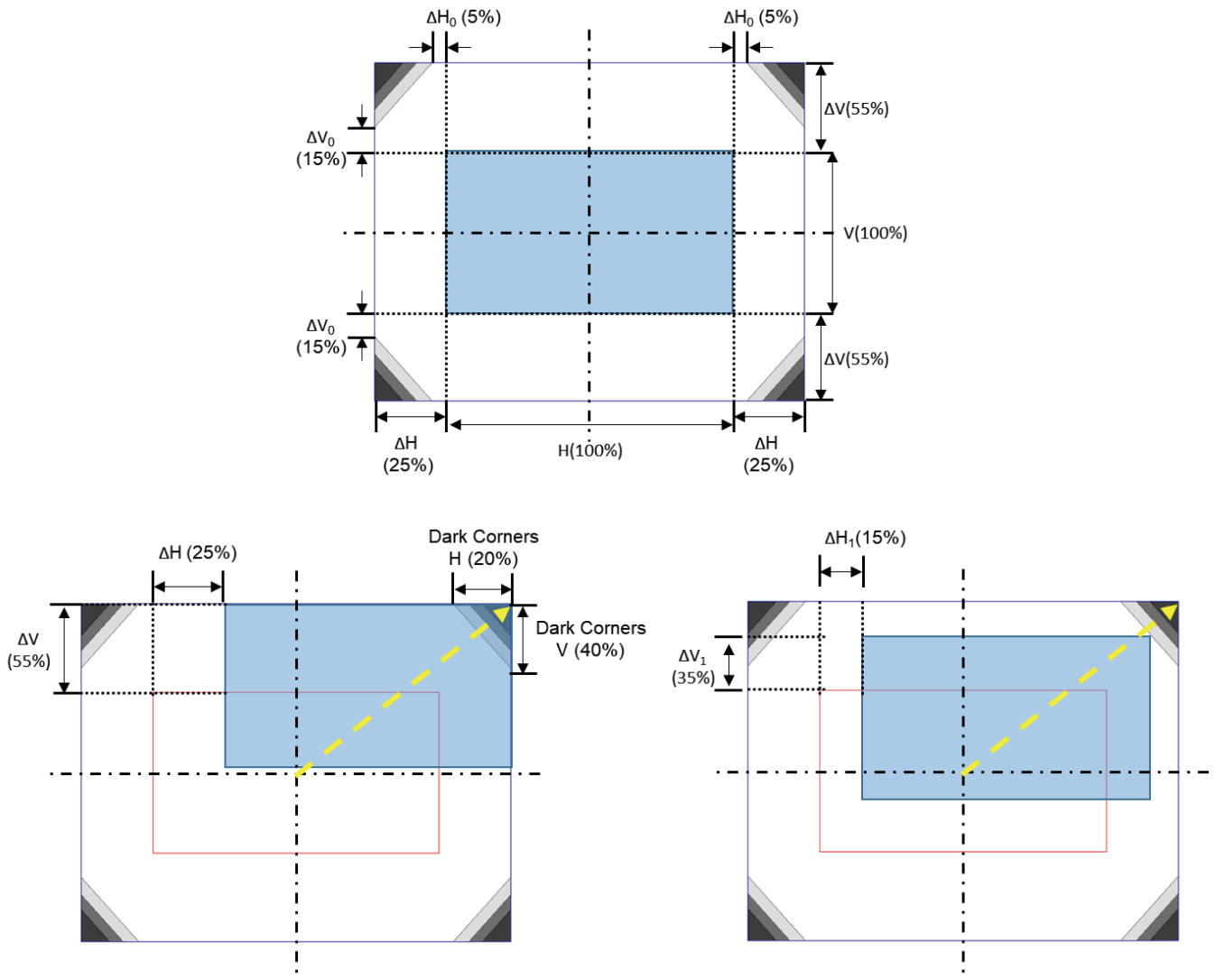
水平レンズシフト



設定と設置

レンズシフト範囲

レンズタイプ	レンズシフト範囲 (1/2 画像)			
	ΔH	ΔV	ΔH_0	ΔV_0
1.6x レンズモデル	25%	55%	5%	15%



注:

- ΔH : レンズが中央にあるときの水平方向のレンズシフト範囲。
- ΔV : レンズが中央にあるときの垂直方向のレンズシフト範囲。
- ΔH_0 : レンズが上部中央または下部中央にある場合、水平方向にケラレのないレンズシフト範囲。
- ΔV_0 : レンズが右中央または左中央にある場合、垂直方向にケラレのないレンズシフト範囲。
- V : 投影画像の高さ。
- H : 投影画像の幅。
- 投影画像。
- 上記の動作範囲を超えてレンズシフトを使用することはお勧めしません。頻繁に行うと、画面の端が暗くなったり、画像の異常（フォーカス不良など）が発生したりします。

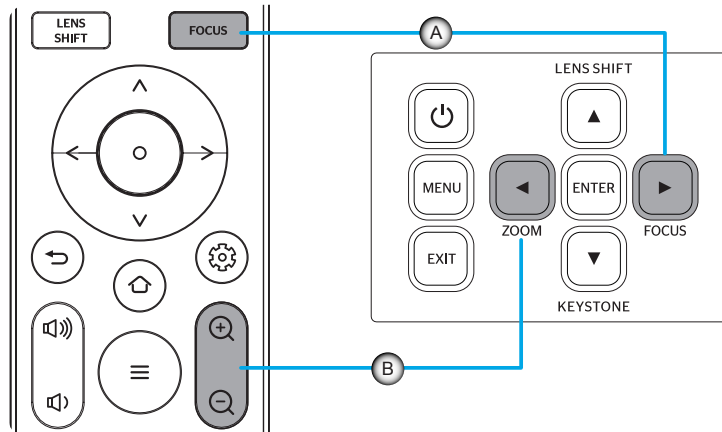
設定と設置

プロジェクターのズームおよびフォーカスを調整する

リモコンまたはプロジェクターのキーパッドを使用して、投影像のズームとフォーカスを調整します。

- 画像のフォーカスを調整するには、[FOCUS] ボタンを押してから、画像が鮮明で判読可能になるまで [◀▶] ボタンを押します。A
- 画像サイズを調整するには、[ZOOM] ボタンを押し、プロジェクターのキーパッドの [◀▶] を押して必要な画像サイズを取得します。B

注: リモコンの [🔍 🔍] ボタンを押して画像サイズを調整することもできます。



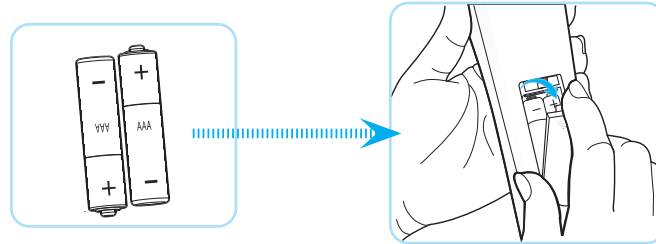
設定と設置

リモート設定

電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注: 交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。

注意事項: 安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

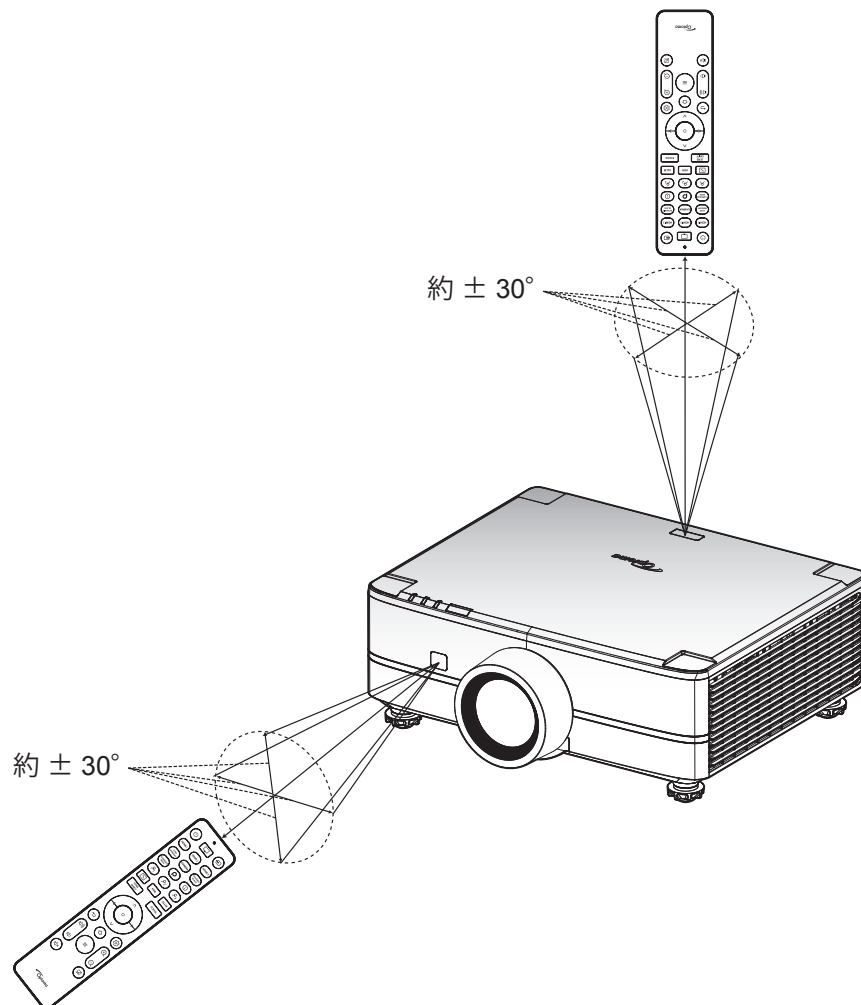
- 間違ったタイプのバッテリーに交換すると、安全装置が無効になる可能性があります (単 4 サイズのバッテリータイプに交換します)。
- バッテリーを火や高温のオープンに廃棄したり、バッテリーを機械的に押しつぶしたり切断したりすると、爆発が起こる可能性があります。
- バッテリーを周囲温度が非常に高い環境に放置すると、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる可能性があります。
- バッテリーを極めて低い気圧に曝すと、爆発または可燃性の液体または気体の漏れを引き起こす可能性があります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。バッテリーから漏れた化学物質が皮膚に接触すると、かぶれを引き起こす可能性があります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- リモコンを長期間使用しない場合は、化学物質の漏れの危険を減らすために電池を取り外してください。

設定と設置

有効範囲

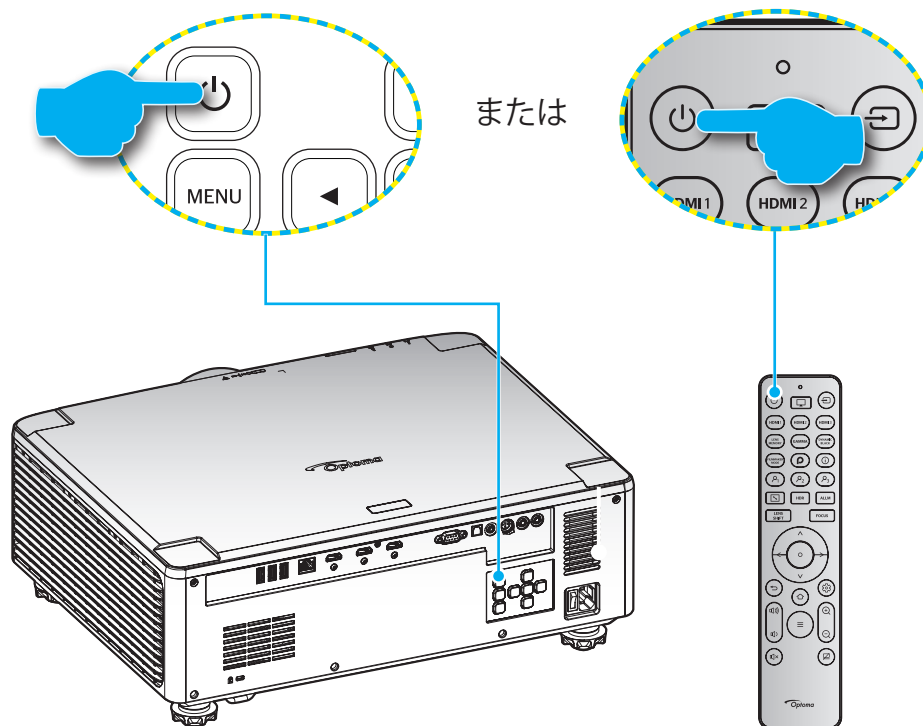
赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの上面と前面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は、6 メートル (19.7 フィート) 以内、センサーを 0° で向ける場合は 8 メートル (26.3 フィート) 以内にしてください。

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- プロジェクター/リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないでください。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 5 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



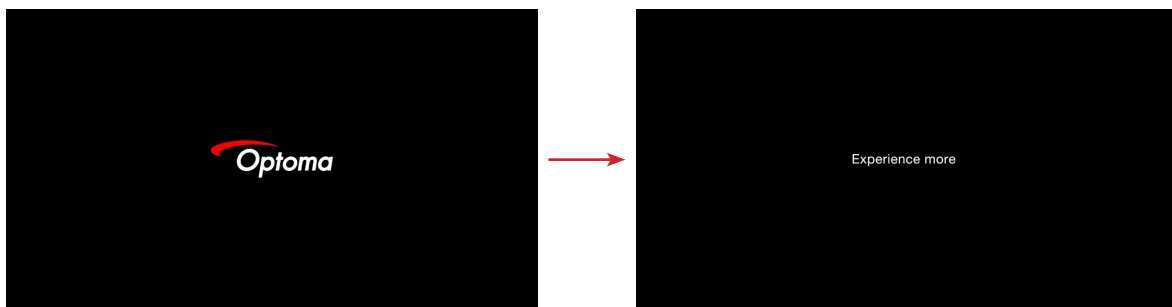
プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



パワーオン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続されると、電源 LED がオレンジ色に点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [P] ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。電源 LED が青とオレンジに点灯します。Optoma のブート ログとアニメーションが画面に表示されます。

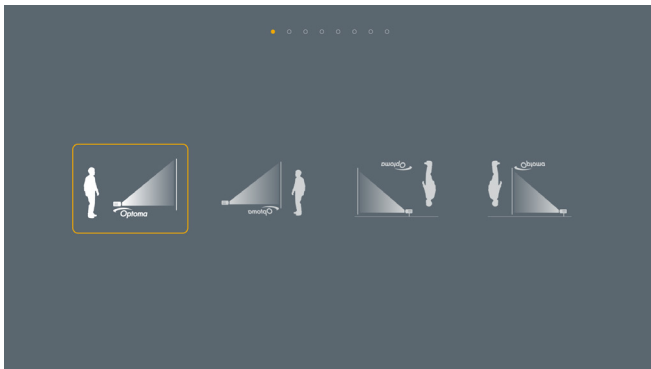


3. 約 10 秒以内にランチャー画面が表示され、電源 LED が青色に点灯します。

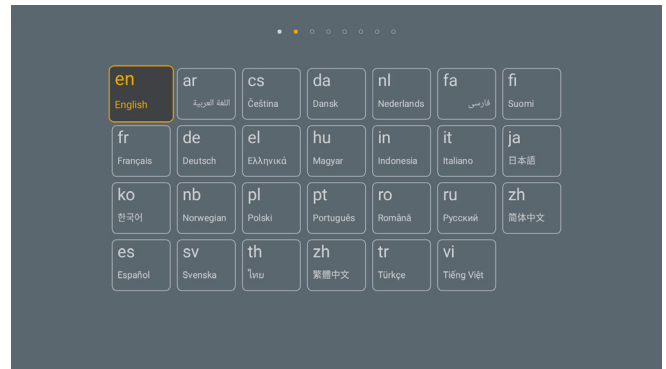


プロジェクターを使用する

初めてプロジェクターの電源を入ると、投射方向、使用言語、ネットワーク設定を含む初期設定を行うように求められます。**セットアップ完了!**画面が表示されたら、これはプロジェクターが使用できる状態であることを示します。



[投影画面]



[言語画面]



[フォーカス調整画面]



[Wi-Fi ドングル設置画面]



[Wi-Fi ドングル設置画面 (続き)]



[ネットワーク画面]



[日時画面]

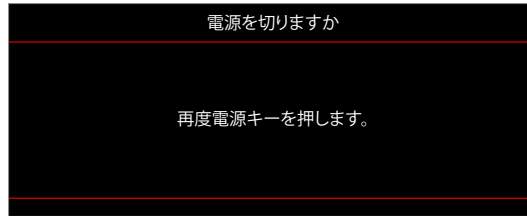


[規制画面]

プロジェクターを使用する

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



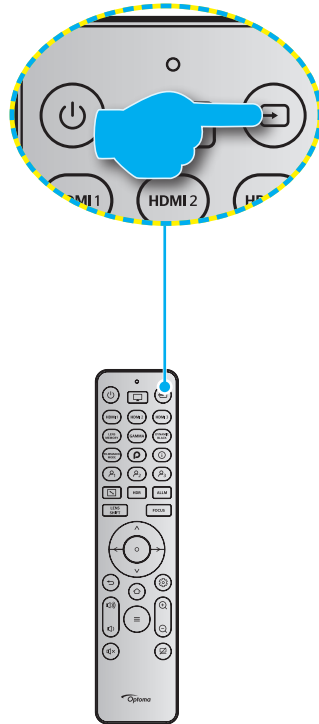
3. 「⏻」ボタンを再び押し確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に「⏻」ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注: 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [≡] ボタンを押し、入力を選択します。



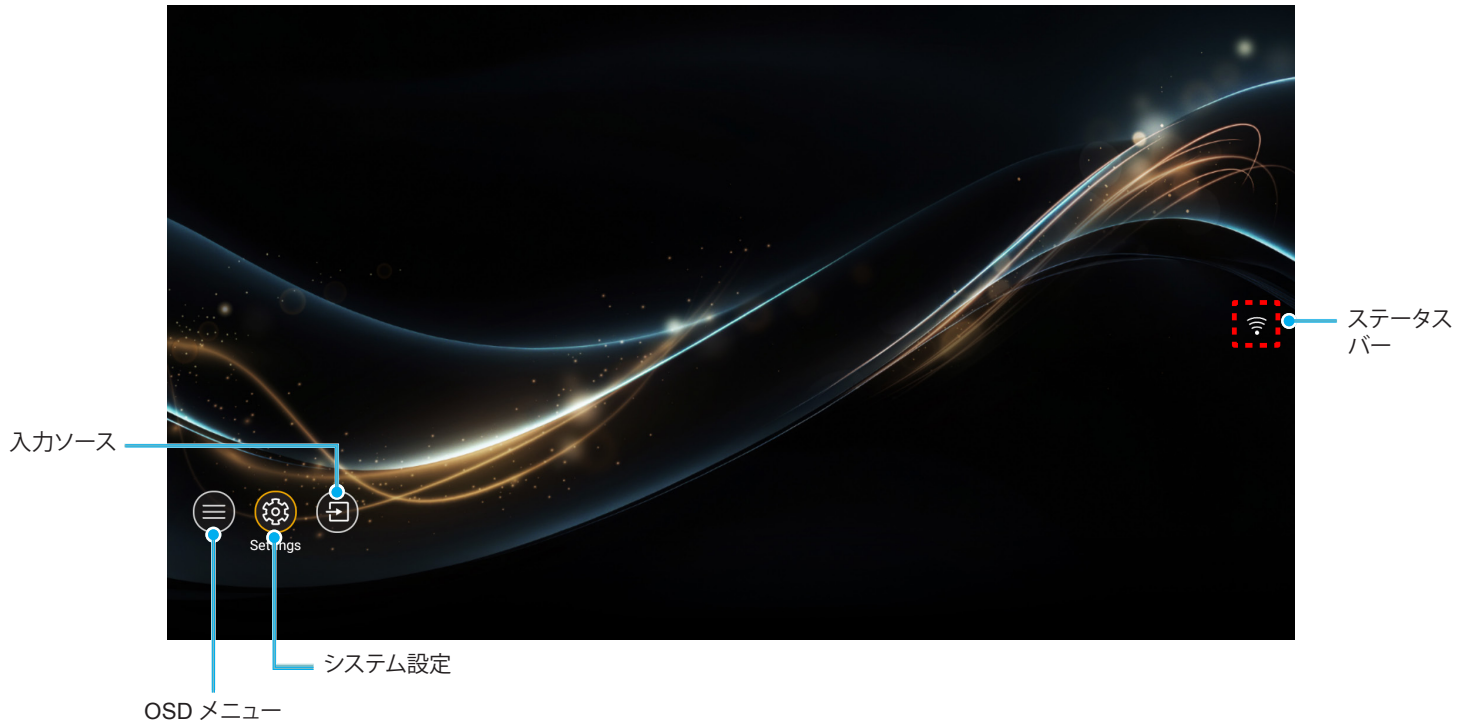
プロジェクターを使用する

ランチャー画面の概要

ランチャー画面は、プロジェクターを起動するためのホームページです。システムステータス、さまざまなアプリにアクセスするためのショートカットなどが含まれています。

ランチャー画面を移動するには、リモコンのボタンを使用してください。

ユーザーインターフェイス内の位置に関係なく、リモコンの「」を押して、いつでもホーム画面に戻ることができます。



注: 例えば、上図の「設定」のように、選択されたメニューまたは項目が黄色にハイライト表示されます。

プロジェクターを使用する

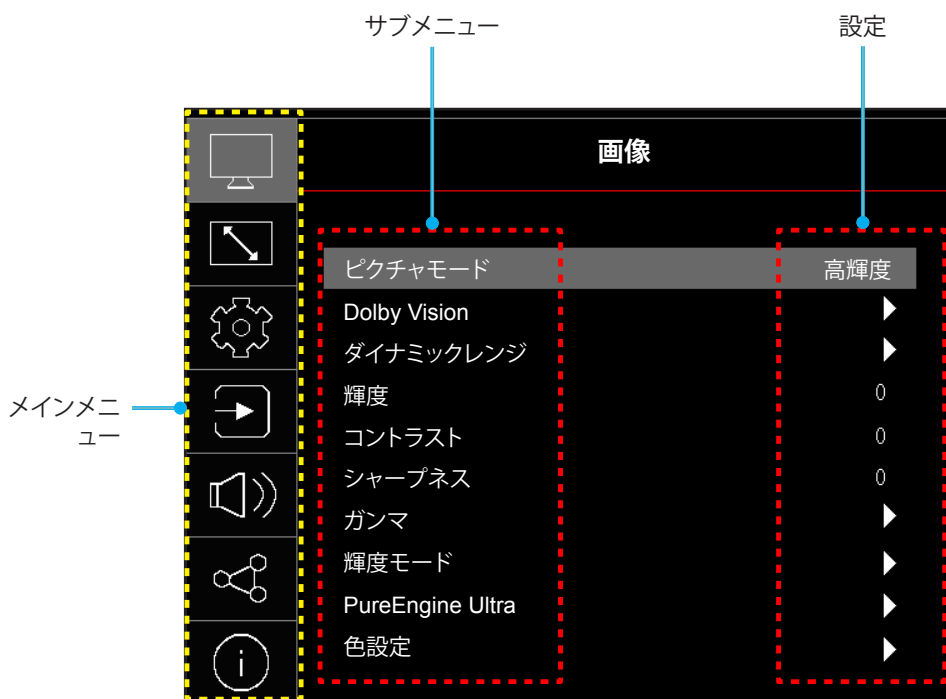
メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

一般的なメニューのナビゲーション

操作	リモコンのボタン	プロジェクターキーパッドの使用
OSDメニューを開く	≡ ボタンを押す	[MENU] ボタンを押します
項目を選択する	▲/▼ ボタンを押す	▲/▼ ボタンを押す
サブメニューに入る	○ ボタンを押す	[ENTER] ボタンを押します
設定を調整する	▲/▼/◀/▶ ボタンを押す	▲/▼/◀/▶ ボタンを押す
選択を確認する	○ ボタンを押す	[ENTER] ボタンを押します
前の項目に移動する	↶ ボタンを押す	[MENU] ボタンを押します
OSDメニューを閉じる	≡ ボタンを押す	[MENU] ボタンを押します

注: ホーム画面で **OSDメニュー** (ⓘ) を選択して OSDメニューを開くこともできます。



プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

注: OSD メニューツリーの項目と機能は、モデルおよび地域によって異なります。Optoma は、製品の性能を向上させるため、事前通知なしに追加または削除する権利を有します。

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
画像	ピクチャモード				鮮明	
					HDR	
					HLG	
					シネマ	
					ゲーム	
					リファレンス	
					WCG	
					高輝度	
					Dolby Vision Bright	
					Dolby Vision Dark	
					Dolby Vision Vivid	
					Dolby Vision Cinema	
					HDR10+	
					ゴルフ	
					AI-PQ	
					3D	
					フィルムメーカーモード	
					IMAX Enhanced	
				ISF Day		
				ISF Night		
				ISF Day HDR		
				ISF Night HDR		
				ISF 3D		
		Dolby Vision	スクリーンサイズ			100 インチ/120 インチ/140 インチ/160 インチ/180 インチ
			スクリーンゲイン			0.5/1.0/1.5/2.0
		ダイナミックレンジ	HDR/HLG			自動/オフ
			HDR 輝度			1 ~ 5
		輝度				-50 ~ 50
		コントラスト				-50 ~ 50
		シャープネス				1 ~ 15
		ガンマ				フィルム
						グラフィック
						1.8
						2.0
					2.2	
	輝度モード				2.4	
					BT.1886	
					ダイナミックブラック1	
					ダイナミックブラック2	
					ダイナミックブラック3	
					Power = 100% / 95% / 90% / 85% / 80% / 75% / 70% / 65% / 60% / 55% / 50%	

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値		
画像	PureEngine Ultra		ピュアコントラスト		オフ / 1 / 2 / 3		
			PureLight		オフ / 1 / 2 / 3		
			ピュアカラー		オフ / 1 / 2 / 3		
			ピュアモーション		オフ / 1 / 2 / 3		
			PureDetail		オフ / 1 / 2 / 3		
	色設定	色の濃さ				-50 ~ 50	
						-50 ~ 50	
		色あい					低
							標準
							高
							冷色
		11 Points RGB Balance				-50 ~ 50	
		色域					ネイティブ
							DCI-P3
							Rec.709
							BT2020
		CMS	色の濃さ				白 / 赤 / 緑 / 青 / シアン / マゼンタ / 黄
			色相				-50 ~ 50
			彩度				-50 ~ 50
			Luminance				-50 ~ 50
			リセット				なし はい
		RGB ゲイン/バイアス	赤ゲイン				-50 ~ 50
			緑ゲイン				-50 ~ 50
			青ゲイン				-50 ~ 50
			赤バイアス				-50 ~ 50
			緑バイアス				-50 ~ 50
			青バイアス				-50 ~ 50
	リセット					なし はい	
	カラースペース					自動 / RGB (0-255) / RGB (16-235)	
	壁色補正					オフ	
						黒板	
						ライトイエロー	
						ライトグリーン	
						ライトブルー	
						ピンク	
						Gray	
	3D	3Dモード				オフ	
						オン	
		3D同期タイプ					DLPリンク 3D 同期





プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値		
画像	3D	3D映像フォーマット			自動		
					サイドバイサイド		
					トップアンドボトム		
					フレームシーケンシャル		
					フレームパッキング		
		3D 同期反転			オフ		
					オン		
		リセット			なし		
			はい				
	リセット						
ディスプレイ	低レイテンシーモード				オン		
					ALLM		
					オフ		
	アスペクト比					4:3	
						16:9	
						V-Stretch	
						完全 [ビデオ]	
						21:9	
						32:9	
						ネイティブ	
						自動	
	ジオメトリ補正	垂直キーストーン				-30 ~ 30	
						-30 ~ 30	
		水平キーストーン					
		4 コーナー調整					
		ワーピング					オフ
							オン
		ワープ制御					「上」「下」「左」「右」
	グリッドカラー					緑	
						マゼンタ	
						赤	
						シアン	
		リセット					
		エッジマスク				0 ~ 10	
	デジタルズーム	ズーム			2K: -20 ~ 50/UHD: -5 ~ 20		
画像シフト	水平 <input type="checkbox"/>				-100 ~ 100		
	垂直 <input checked="" type="checkbox"/>				-100 ~ 100		
	リセット						

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
設定	レンズ設定	ズーム			(「左」または「右」を押してください)	
		フォーカス			(「左」または「右」を押してください)	
		レンズ機能			ロック/ロック解除	
		レンズシフト			上/下/左/右	
		レンズキャリブレーション				
		レンズメモリ	位置の適用			1~5
	現在位置の保存				1~5	
	リセット				いいえ/はい	
	テストパターン					緑のグリッド
						マゼンタのグリッド
						白グリッド
						白
	投射位置					オフ
						フロント
						リア
						天吊り - トップ
	言語					背面 - 上部
						English
						عربي
						Čeština
						Dansk
						Nederlands
						فارسی
						Suomi
						Français
						Deutsch
						ελληνικά
						Magyar
						Bahasa Indonesia
						Italiano
						日本語
						한국어
						Norsk
						Polski
						Português
						Română
				Русский		
				简体中文		
				Español		
				Svenska		
				ไทย		
				繁體中文		
				Türkçe		
				Tiếng Việt		

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
設定	メニュー設定	メニュー位置			左上 	
					右上 	
					中央 	
					左下 	
					右下 	
		メニュータイマー				オフ
						5 秒
						10 秒
						20 秒
						30 秒
	信号表示				オフ	
					オン	
	高地モード				オフ	
					オン	
	電源設定	ダイレクト電源オン			オフ	
					オン	
		信号検知オートパワーオン			オフ	
					オン	
		オートパワーオフ (分)			0、2 ~ 180 (1 分の増分)	
		スリープタイマー (分)			0 ~ 990 (30 分の増分)	
		電源モード(スタンバイ)				エコ
						通信
						Communication (20 mins)
		12VトリガA				オフ
					オン	
	12VトリガB				オフ	
					オン	
	セキュリティ	セキュリティ			オフ	
					オン	
		セキュリティタイマー	月			
			日			
	時					
	パスワードの変更					
	本体キー設定	キーパッドロック				オフ
						オン
	背景色					なし
					青	
					赤	
					緑	
					Gray	

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値		
設定	リモコン設定	ユーザー 1			(なし)/輝度/ コントラスト/ シャープネス/ 色の濃さ/ 色温度/ 11 Points RGB Balance/ 色域/ CMS/ RGB ゲイン/ バイアス/ ジオメトリ補正/ テストパターン/ 投射位置/ LAN/ コントロール/ スリープタイマー/ 垂直キーストーン/ 水平キーストン/ 4コーナー		
		ユーザー 2			(なし)/輝度/ コントラスト/ シャープネス/ 色の濃さ/ 色温度/ 11 Points RGB Balance/ 色域/ CMS/ RGB ゲイン/ バイアス/ ジオメトリ補正/ テストパターン/ 投射位置/ LAN/ コントロール/ スリープタイマー/ 垂直キーストーン/ 水平キーストン/ 4コーナー		
		ユーザー 3			(なし)/輝度/ コントラスト/ シャープネス/ 色の濃さ/ 色温度/ 11 Points RGB Balance/ 色域/ CMS/ RGB ゲイン/ バイアス/ ジオメトリ補正/ テストパターン/ 投射位置/ LAN/ コントロール/ スリープタイマー/ 垂直キーストーン/ 水平キーストン/ 4コーナー		
	デバイスリセット	OSDをリセット			なし		
		すべての設定をリセット			はい		
	入力	自動ソース				オフ	
					オン		
入力源の名前を変更		HDMI 1 / HDMI 2 / HDMI 3 / ホーム				デフォルト	
						カスタム	
Input Hide		HDMI 1 / HDMI 2 / HDMI 3 / ホーム				なし	
						はい	
HDMI CEC設定		HDMI Link				オフ	
						オン	
		電源オン設定					双方向設定
							PJ --> デバイス
							デバイス --> PJ
						双方向設定	
電源オフ設定					PJ --> デバイス		
					デバイス --> PJ		
リセット					なし		
					はい		

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
オーディオ	音量				0 ~ 10	
	ミュート				オフ	
					オン	
	Audio Output Settings				Analog	
					SPDIF	
					eARC	
	デジタル出力フォーマット				Bitstream	
					PCM	
リセット				なし		
				はい		
コントロール	デバイスID				0 ~ 99	
	LAN	ネットワーク情報				(読み取り専用。接続済み / 切断)
		MACアドレス				
		DHCP				オフ/オン
		IP アドレス				192.168.0.100
		サブネットマスク				255.255.255.0
		ゲートウェイ				192.168.0.254
		DNS 1				192.168.0.51
		DNS 2				0.0.0.0
		リセット				
	コントロール	クレストロン				オフ
						オン
		Extron				オフ
						オン
		PJ リンク				オフ
						オン
		AMX デバイス検出				オフ
						オン
	Telnet				オフ	
					オン	
	HTTPS				オフ	
					オン	
	コントロール 4				オフ	
					オン	
	リセット					なし
						はい

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
Info.OnScreen	制御					
	シリアル番号					
	ソース情報					ソース
						解像度 (00x00)
						リフレッシュレート (0.00 Hz)
	ピクチャモード					
	カラー情報					カラービット深度
						色域
						カラースペース
	オーディオコーデック					
	電源モード(スタンバイ)					通信/エコ
	Light Source Hours					
	輝度モード					
	デバイスID					00 ~ 99
	IP アドレス					
	ネットワーク情報					
	MACアドレス					
FWバージョン	DDP					
	MCU					
	スカラー					
	レンズ MCU					

プロジェクターを使用する

イメージメニュー

画像設定を構成する方法について説明します。

サブメニュー

- ピクチャモード
- Dolby Vision
- ダイナミックレンジ
- 輝度
- コントラスト
- シャープネス
- ガンマ
- 輝度モード
- PureEngine Ultra
- 色設定
- 壁色補正
- 3D

ピクチャモード

表示の好みに合わせて選択できる、事前定義されたディスプレイモードがいくつかあります。各モードは、幅広いコンテンツに対して優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

- **鮮明:** このモードを選択すると、色の彩度と明るさのバランスが取れ、表示が明るくなります。環境光があるセットアップ、またはより明るい画像/プレゼンテーションが必要な場合は、このモードを選択してください。
- **HDR /HLG:** ハイダイナミックレンジ (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) コンテンツを復号し、表示し、DCI-P3 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR/HLG が自動的に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR/HLG コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HD/HLGR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR/HLG モードが有効なとき、他のディスプレイモード (映画や参照など) は選択できません。HDR/HLG は、他のディスプレイモードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **シネマ:** 映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。
- **ゲーム:** ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクタを最適化します。
- **リファレンス:** このモードは、映画監督が意図したように、画像にできるだけ近い色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します。
- **WCG (広い色域):** より広い範囲の色を提供します。WCG は非 HDR 表示モードであり、SDR コンテンツでのみ使用できます。WCG とリファレンスピクチャモードは、最も色精度の高い非 HDR ピクチャモード (SDR) を表します。
- **高輝度:** このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
- **Dolby Vision Bright:** Dolby Vision は、シーンごとに優れたトーンマッピングと優れたビット深度およびコントラストを可能にする動的なメタデータをデコードして、魅力的な HDR 画像をデコードして表示します。Dolby Vision Bright は Dolby Vision Dark よりも明るい視覚的明るさを特徴とし、より白い白を実現し、暖色系と肌の色調を強調します。
- **Dolby Vision Dark:** Dolby Vision は、シーンごとに優れたトーンマッピングと優れたビット深度およびコントラストを可能にする動的なメタデータをデコードして、魅力的な HDR 画像をデコードして表示します。Dolby Vision Dark は、Dolby Vision Bright よりも暗い視覚的な明るさに重点を置いており、より深い黒を含むより強力なコントラストを実現します。

注: ソースコンテンツ (ストリーミングビデオ、4K HDR Blu-ray、4K ゲーム) とソースプレーヤー (FireTV 4K Stick/Cube、Shield TV 4K、Xbox Series X、4K HDR Blu-ray プレーヤー) は Dolby Vision をサポートしている**必要があります**。PS5 は Dolby Vision をサポートしていません。

プロジェクターを使用する

- **Dolby Vision Vivid:** Dolby Vision は、シーンごとに優れたトーンマッピングと優れたビット深度およびコントラストを可能にする動的メタデータをデコードして、見事な HDR 画像をデコードして表示します。Dolby Vision Vivid は、より明るく鮮明な光学アルゴリズムを適用して、より高い輝度とより鮮明な視覚パフォーマンスを実現します。
- **Dolby Vision Cinema:** 映画鑑賞時に、Dolby Vision Vivid よりも優れたディテールと色彩のバランスを実現します。
- **HDR10+:** フレームごとに動的メタデータをデコードして HDR10+ コンテンツをデコードおよび表示し、HDR10+ コンテンツの明るい部分と暗い部分の詳細を強調して、HDR10 よりも優れた HDR の視覚体験を実現します。
注: ソースコンテンツ (ストリーミングビデオ、4K HDR Blu-ray、4K ゲーム) とソースプレーヤー (FireTV 4K Stick/Cube、Shield TV 4K、Xbox Series X、4K HDR Blu-ray プレーヤー) は HDR10+ をサポートしている**必要があります**。PS5 は HDR10+ をサポートしていません。
- **ゴルフ (ゴルフシミュレーションモード):** 色彩とコントラストを強化して、より明るい青空、より暗い影、リアルなグリーンでリアルなゴルフ体験とエンターテインメントを演出します。
- **AI-PQ (AI 画質):** 統合 AI 処理ユニットを使用したリアルタイムの顔とシーン認識により、最高の視覚体験が実現します。AI-PQ はすべての画面の画質を同時に最適化します。
- **3D:** 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。
注: 3D 効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。
- **フィルムメーカーモード:** フィルムメーカーモードでは、すべての後処理 (モーションスムージングなど) を無効にし、正しいアスペクト比、色、フレームレートを維持することで、プロジェクターは映画制作者の意図どおりにビデオコンテンツを正確に表示できます。フィルムメーカーモードの詳細については、<https://filmmakermode.com/> をご覧ください。
- **IMAX Enhanced:** IMAX® プレミアム 4K HDR 画像パフォーマンスと DTS® の臨場感あふれるサウンド体験を提供します。
注: IMAX® シアターで上映されるコンテンツの劇場版と同様に、コンテンツの一部または全体が IMAX® カメラで撮影されているため、IMAX® シーンはさまざまです。
- **ISF Day:** 画像を完璧に校正できるように ISF Day モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF Night:** 画像を完璧に校正できるように ISF Night モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF Day HDR:** 画像を完璧に校正できるように ISF Day HDR モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF Night HDR:** 画像を完璧に校正できるように ISF Night HDR モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF 3D:** 画像を完璧に校正できるように ISF 3D モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。

注: HDR、HDR10+、Dolby Vision、eARC を利用する場合は、4K120/8K30 HDMI 2.1 ケーブルを使用してください (これらは高品質で、信号減衰が少ないかまったくありません)。

プロジェクターを使用する

Dolby Vision

スクリーンサイズ

Dolby Vision モードで画面サイズを設定します。

スクリーンゲイン

Dolby Vision モードで画面の輝度を設定します。

ダイナミックレンジ

HDR/HLG

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) 設定およびその効果を構成します。

- **自動:** HDR/HLG/HDR10+/Dolby Vision 信号を自動検出します。
- **オフ:** HDR/HLG/HDR10+/Dolby Vision Processing をオフにします。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG/HDR10+/Dolby Vision コンテンツをデコードしません。

HDR 輝度

ダイナミックレンジが **自動** に設定されている場合、HDR の強度を調整します。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム:** ホームシアター用。
- **グラフィック:** PC/写真ソース用。
- **1.8 / 2.0 / 2.2 / 2.4 / BT.1886:** 特定の PC/写真ソース用。

輝度モード

ブライトネスモードの設定を調整します。

- **ダイナミックブラック1/ ダイナミックブラック2/ ダイナミックブラック3:** 最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。
- **Power:** ブライトネスモードの消費電力パーセンテージを選択します。

PureEngine Ultra

PureEngine パラメーターを調整します。

- **ピュアコントラスト:** 暗い/明るい映画のシーンで細部まではっきり表示できるように、ディスプレイの輝度を自動的に最適化するために使用します。
- **PureLight:** SDR/HDR の明るい領域をさらに明るくするために使用します。明るい領域のさまざまなレベルについては、オフ、1、2、3 から選択します。
- **ピュアカラー:** 画像の鮮明さを大幅に増やすために使用します。
- **ピュアモーション:** 表示される画像の自然な動きを保持するために使用します。
- **PureDetail:** 画像のシャープネスを大幅に増やすために使用します。

プロジェクターを使用する

色設定

色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

色温度

低、標準、高、または冷色から色温度を選択します。

11 Points RGB Balance

赤、緑、青の色バランスを調整します。

色域

ネイティブ、DCI-P3、Rec.709、BT2020 から色域を調整します。

CMS

次のオプションを選択します：

- **色の濃さ:** 画像の赤、緑、青、シアン、黄、マゼンタ、白レベルを調整します。
- **色相:** 赤と緑のカラーバランスを調整します。
- **彩度:** ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
- **Luminance:** 選択したカラーの輝度を調整します。
- **リセット:** Colour Adjustment を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

RGB ゲイン/バイアス

この設定で画像の輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。

- **赤/緑/青ゲイン:** 画像の明るい領域の色を調整します。
- **赤/緑/青バイアス:** 画像の暗い領域の色を調整します。
- **リセット:** グレースケール (ホワイトバランス) 調整を工場出荷時の設定に戻します。

カラースペース

以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0-255)、またはRGB (16-235)。

壁色補正

スクリーンのない壁に投影するとき、投影される画像の色を調整するように設計されています。各モードは、優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

壁の色に合わせて選択できる、事前定義されたモードがいくつかあります。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、Gray から選択します。

注: 正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。

プロジェクターを使用する

3D

注:

- このプロジェクターは、DLP-Link 3D ソリューションを備えた完全な 3D プロジェクターです。
- ビデオを楽しむ前に、DLP リンク 3D コンテンツに 3D メガネが使用されていることを確認してください。
- このプロジェクターは、HDMI1/HDMI2/HDMI3 ポートを介して、フレームシーケンシャル (ページフリップ) 3D をサポートしています。
- 最良の映像を実現するために、1920x1080 の解像度が推奨されます。3D モードでは、4K (3840x2160) の解像度に対応していません。

3Dモード

このオプションを利用し、3D 機能を有効または無効にします。

- **オフ:** [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- **オン:** [オン] を選択すると、3D モードがオンになります。

3D同期タイプ

このオプションを使用して、3D 技術を選択します。

- **DLPリンク:** 選択して DLP 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。
- **3D 同期:** IR、RF または偏光 3D 眼鏡用に最適化された設定を使用するために選択します。

3D映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動:** 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイドバイサイド:** 「サイドバイサイド」フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップアンドボトム:** 3D 信号を [トップアンドボトム] フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル:** 3D 信号を [フレームシーケンシャル] フォーマットで表示します。
- **フレームパッキング:** 3D 信号を [フレームパッキング] フォーマットで表示します。

3D 同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

リセット

3D 設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

- **なし:** リセットをキャンセルするために選択します。
- **はい:** 3D 設定を工場出荷時設定に戻すために選択します。

リセット

映像設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

プロジェクターを使用する

ディスプレイメニュー

設置状況に応じて映像を適切に投影するための設定方法を説明します。

サブメニュー

- 低レイテンシーモード
- アスペクト比
- ジオメトリ補正
- エッジマスク
- デジタルズーム
- 画像シフト

低レイテンシーモード

この機能を有効にすると、PC、Xbox Series X|S、PS4、PS5、Switch、Steam Deck、Asus Ally Xなどでゲームをするときに応答時間（入力遅延）が短縮されます。すべてのジオメトリ設定（例：キーストーン、ワーピング）は、低遅延モードが有効な場合は無効になります。ジオメトリ設定には処理が必要であり、処理によって「インパクトラグ」が発生します。

ソースタイミング	入力遅延
1080p60	約 20 ミリ秒
1080p120	約 12.5 ミリ秒
1080p240	約 8.5 ミリ秒
4K60	約 20 ミリ秒

ALLM を使用すると、サポートされているゲームコンソール（Xbox Series X|S、PS5、PC（サポートされている GPU（グラフィックスプロセッシングユニット）を搭載））がプロジェクターに信号を送信できるようになり、プロジェクターはゲーム用の低遅延、低ラグモードを自動的に有効にします。ALLM を使用するには、OSD のメインメニューの [ディスプレイ] の下にある [ALLM 設定] を [ALLM] に設定します。ALLM が有効になっている場合、低遅延をオン/オフにする必要はありません。

アスペクト比

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します：

- **4:3:** このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9:** ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 16:9 入力用です。
- **V-Stretch:** このモードでは、2.35:1/2.4:1 画像が垂直方向に引き伸ばされ、黒いバーが削除されます。
- **完全 [ビデオ]:** この特殊 2.0:1 アスペクト比を使って、画面の上部および下部の黒いバーなく、16:9 および 2.35:1 アスペクト比の映画を表示します。
- **21:9:** ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 21:9 入力用です。
- **32:9:** ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 32:9 入力用です。
- **ネイティブ:** このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動:** 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注:

- **垂直ストレッチ モードに関する詳細情報:**
 - 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレイの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、垂直ストレッチモードを使って 16:9 ディスプレイに画像を合わせることができます
 - 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この垂直ストレッチモードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ（アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む）を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレイに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。光源パワーと垂直方向の解像度がフル活用されます

プロジェクターを使用する

- 全画面表示フォーマットを使用するには、以下を行います：
 - 画面のアスペクト比を 2.0:1 に設定します。
 - 「完全」フォーマットを選択します。
 - プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます。

4K UHD DMD スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
21x9	3840 x 1644 に調整します。				
32x9	3840 x 1080 に調整します。				
V-Stretch	中央の 3840 x 1620 画像を取得し、その後、3840 x 2160 にサイズ変更して表示します				
完全	5068 x 2852 (132% 拡大) に拡大し、中央の 3840 x 2160 画像を取得します				
自動	ソースが 4:3 の場合、2880 x 2160 に自動的にサイズ変更されます				

4K UHD DMD 自動マッピングルール:

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイドノート PC	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

プロジェクターを使用する

ジオメトリ補正

垂直キーストーン

画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストーンは、上下が片側に傾いているキーストーン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

水平キーストーン

画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストーンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストーン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

4 コーナー調整

この設定により、投影面が水平でない場合に、投影画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。

ワーピング

ワーピング調整を有効または無効にします。

ワーブ制御

ワーピング調整は 5x3 グリッドパターンをサポートし、画像全体の位置合わせを調整できます。▲/▼/◀/▶ キーを押してポイントに焦点を合わせ、**ENTER** キーを押してポイントを選択します。次に ▲/▼/◀/▶ を押して、選択したポイントの位置を移動します。

グリッドカラー

ワーブパターンのグリッドの色を 緑、マゼンタ、赤、シアン の間で選択します。

リセット

幾何学補正設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

エッジマスク

この機能を使って、ビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを除去します。

デジタルズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。デジタルズームは、光学ズームと同じではなく、画質が劣化する場合があります。

注: ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。

画像シフト

投影される画像位置を水平 (水平) または垂直 (垂直) に調整します。

リセット

ディスプレイ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

設定メニュー

プロジェクターのセットアップ方法について説明します。

サブメニュー

- レンズ設定
- テストパターン
- 投射位置
- 言語
- メニュー設定
- 高地モード
- 電源設定
- セキュリティ
- 本体キー設定
- 背景色
- リモコン設定
- デバイスリセット

レンズ設定

ズーム

◀および▶ ボタンを使用して、投影された画像の大きさを調整します。

フォーカス

◀および▶ ボタンを使用して、投影された画像のフォーカスを調整します。

レンズ機能

レンズモーターが動かないようにレンズをロックすると、すべてのレンズ機能が無効になります。

注: レンズ機能が「ロック」になっている場合、フォーカス、ズーム、レンズシフト、レンズキャリブレーション、レンズメモリは使用できなくなります。

レンズシフト

▲、▼、◀、▶ ボタンを使用してレンズの位置を調整し、投影領域を移動します。

レンズキャリブレーション

レンズ位置を調整して中心に戻します。プロジェクターとレンズの損傷を防ぐため、レンズを交換する前に必ずレンズのキャリブレーションを行ってください。

レンズメモリ

このプロジェクターは、レンズの位置を記録するレンズ設定を 5 つまで保存できます。正しいデータを記録するには、レンズメモリを初めて処理するときにレンズキャリブレーションを実行してください。

- **位置の適用:** 1 ~ 5 のレコードを選択してレンズ設定を適用します。
- **現在位置の保存:** 1 ~ 5 のレコードを選択して、現在のレンズ設定を保存します。
- **リセット:** 保存されているレンズのレコードをクリアします。

注:

- レンズシフトメモリを設定する前に、レンズキャリブレーションを実行してください。
- 「位置の適用」の前に「現在位置の保存」を付ける必要があります。そうしないと、メモリ適用機能がグレー表示または無効になります。
- レンズキャリブレーションを実行すると、保存されたレンズのレコードが消去されます。
- レンズキャリブレーションが完了していない場合、レンズシフトメモリは使用できません。

プロジェクターを使用する

テストパターン

テストパターンを 緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白グリッド、白 から選択するか、この機能 (オフ) を無効にします。

投射位置

フロント、リア、天吊り - トップ、背面 - 上部 から希望の投影を選択します。

言語

多言語 OSD メニューを選択します。

メニュー設定

メニュー位置

画面上に表示されるメニューの位置を選択します。

メニュータイマー

OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

信号表示

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

高地モード

[オン] を選択すると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

電源設定

ダイレクト電源オン

[オン] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

信号検知オートパワーオン

[オン] を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

注: この機能は HDMI ソースに適用されます。

オートパワーオフ (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

スリープタイマー (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

注: スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。

電源モード(スタンバイ)

電源モードを設定します。

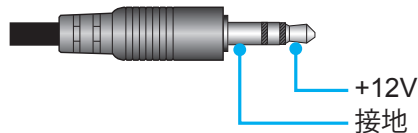
電源モード(スタンバイ)	消費電力	ネットワーク制御	自動パワーオフ
エコ	< 0.5W	-	-
通信	< 8W	サポート	-
Communication (20 mins)	< 8W	サポート	20 分

プロジェクターを使用する

12VトリガA/12VトリガB

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。

注: リレーシステム制御用に 12V 500mA (最大) を出力する 3.5 mm ミニジャック。



- ・ **オン:** 「オン」を選択するとトリガが有効になります。
- ・ **オフ:** 「オフ」を選択するとトリガが無効になります。

セキュリティ

セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- ・ **オン:** [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときセキュリティ検証を行います。
- ・ **オフ:** [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

セキュリティタイマー

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

パスワードの変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

本体キー設定

キーパッドロック

キーパッドロック機能が [オン] であるとき、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。[オフ] を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

背景色

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、または、なしを表示します。

注: 背景色が [なし] に設定されている場合、背景色は黒になります。

リモコン設定

ユーザー1 / ユーザー 2 / ユーザー 3

リモコンの ユーザー 1、ユーザー 2、ユーザー 3 ボタンに機能を割り当てます。OSD メニューを経由することなく、簡単に機能を使用できます。

デバイスリセット

OSDをリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

すべての設定をリセット

すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

プロジェクターを使用する

入力メニュー

プロジェクターの入力設定を行う方法について説明します。

サブメニュー

- 自動ソース
- 入力源の名前を変更
- Input Hide
- HDMI CEC設定

自動ソース

利用可能な入力源をプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

入力源の名前を変更

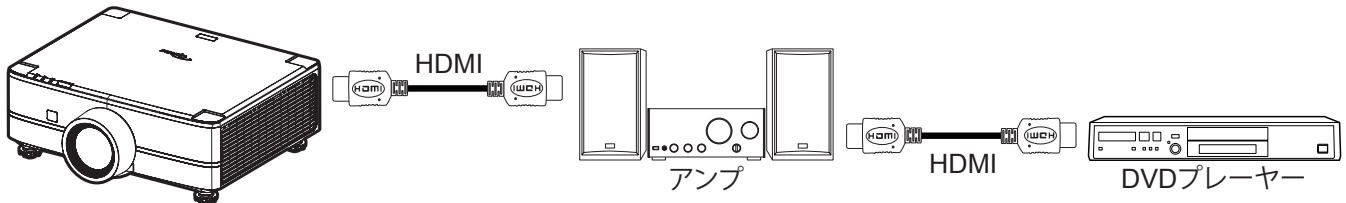
簡単に特定できるように入力機能の名前を変更するために使用します。利用可能なオプションは、[HDMI 1]、[HDMI 2]、[HDMI 3]、および [ホーム] です。

Input Hide

入力ソースメニューから非表示にする入力オプションを選択します。利用可能なオプションは、[HDMI 1]、[HDMI 2]、[HDMI 3]、および [ホーム] です。

HDMI CEC設定

注: HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクターに接続するとき、プロジェクターの OSD で HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。



HDMI Link

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。

電源オン設定

CEC 電源オンコマンド。

- **双方向設定:** プロジェクターとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- **PJ --> デバイス:** プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- **デバイス --> PJ:** CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

電源オフ設定

CEC 電源オフコマンド。

- **双方向設定:** プロジェクターと CEC デバイスが両方同時にオフになります。
- **PJ --> デバイス:** プロジェクターがオフになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオフになります。
- **デバイス --> PJ:** CEC デバイスがオフになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオフになります。

リセット

入力設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクトターを使用する

オーディオメニュー

オーディオ設定を構成する方法について説明します。

サブメニュー

- 音量
- ミュート
- Audio Output Settings
- デジタル出力フォーマット

音量

音量レベルを調整します。

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オフ:** [オフ] を選択して、ミュートをオフに切り替えます。
- **オン:** [オン] を選択して、ミュートをオンに切り替えます。

注: [ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えません。

Audio Output Settings

Analog、SPDIF、eARC の中からオーディオ出力形式を選択します。

注: eARC は、Dolby ATMOS をサポートする Dolby ATMOS サウンドバーまたは AVR への Dolby ATMOS パススルーをサポートします。

デジタル出力フォーマット

デジタル出力フォーマットを Bitstream と PCM の間で選択します。

リセット

オーディオ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

コントロールメニュー

コントロールメニューは、プロジェクターが他のプロジェクターまたは制御デバイスと通信できるようにする設定を構成するために使用されます。

サブメニュー

- デバイスID
- LAN
- コントロール

補足情報

- Webコントロールパネルの使用
- TelnetによるRS232コマンドの使用

デバイスID

ID 定義をメニュー (0~99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

注: RS232 コマンドの完全な一覧については、当社の Web サイトの RS232 ユーザーマニュアルを参照してください。

LAN

プロジェクターのネットワーク設定を行います。

ネットワーク情報

ネットワーク接続状態を表示します。(読み取り専用)

MACアドレス

MAC アドレスを表示します。(読み取り専用)

DHCP

DHCP をオンにすると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS 1、DNS 2 が自動的に取得されます。

IP アドレス

プロジェクターの IP アドレスを割り当てます。

サブネットマスク

プロジェクターのサブネットマスクを割り当てます。

ゲートウェイ

プロジェクターのゲートウェイを割り当てます。

DNS 1 / DNS 2

プロジェクターの DNS を割り当てます。

リセット

ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

コントロール

このプロジェクターは、有線ネットワーク接続を介してコンピューターまたはその他の外部デバイスからリモートで制御できます。ユーザーは、リモートコントロールセンターから1つまたは複数のプロジェクターを制御できます。たとえば、プロジェクターの電源のオン/オフ、画像の明るさやコントラストの調整などです。

コントロールサブメニューを使用して、プロジェクターのコントロールデバイスを選択します。

クレストロン

Crestron コントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.crestron.com> にアクセスしてください。

Extron

Extron デバイスでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.extron.com> にアクセスしてください。

PJ リンク

PJLink v2.0 コマンドでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://pjlink.jbma.or.jp/english> にアクセスしてください。

AMX デバイス検出

AMX デバイスでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.amx.com> にアクセスしてください。

Telnet

Telnet 接続を介して RS232 コマンドを使用してプロジェクターを制御します。

詳細については、「[RS232 by Telnet] 機能」(64 ページ)を参照してください。

HTTPS

Web ブラウザーでプロジェクターを制御します。(ポート: 8088)

詳細については、「Web ブラウザを使用してプロジェクタをコントロールする方法」(55 ページ)を参照してください。

コントロール 4

Control 4 コントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します。(ポート: 53595)

コントロールポート

コントロール	クレストロン	ポート 41794
	エクストロン	ポート 2023
	PJ リンク	ポート 4352
	AMX デバイス検出	ポート 9131
	Telnet	ポート 23
	HTTPS	ポート 8088
	コントロール 4	ポート 53595

注:

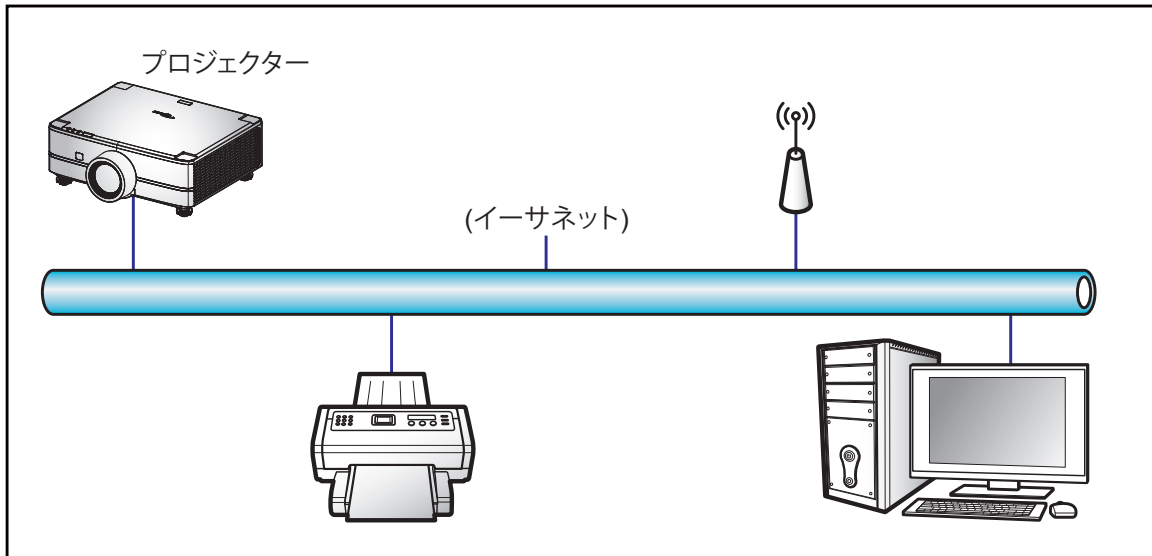
- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。
- LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する情報については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

プロジェクターを使用する

ネットワーク制御のセットアップ

LAN RJ45 機能

操作を簡単にするために、プロジェクターは多様なネットワーク機能とリモート管理機能を備えています。プロジェクターの LAN/RJ45 機能では、ネットワークを介して電源のオン/オフ、明るさ設定、コントラスト設定などをリモート管理できます。また、ビデオソースや消音など、プロジェクターステータス情報も表示できます。



有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは PC (ラップトップ) またはその他の外部デバイスを利用し、LAN/RJ45 ポートと互換性のある Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJLink を介して制御できます。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは Crestron Electronics コントローラーと関連ソフトウェア、たとえば、RoomView® の指定のコマンドに対応しています。

<http://www.crestron.com/>

このプロジェクターは Extron デバイスに対応しているのでご参照ください。

<http://www.extron.com/>

このプロジェクターは AMX (デバイス検出) に対応しています。

<http://www.amx.com/>

このプロジェクターは、PJLink Class 2 のすべてのコマンドをサポートしています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/english/>

LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

プロジェクターを使用する

Web ブラウザを使用してプロジェクタをコントロールする方法

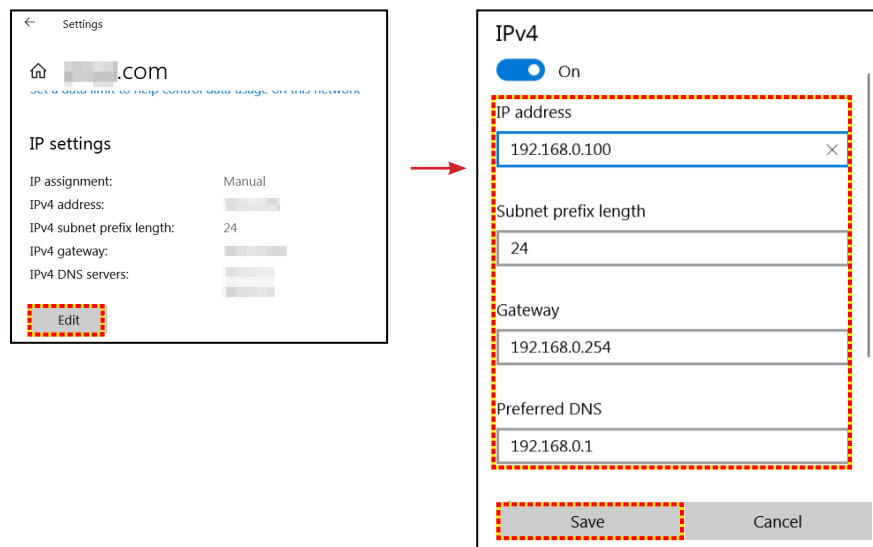
1. DHCP サーバーが IP アドレスを自動的に割り当てられるよう、プロジェクタの DHCP オプションを [オン] にします。
2. PC で Web ブラウザーを開き、プロジェクターの IP アドレスを入力します ([コントロール > LAN > IP アドレス])。
3. ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。プロジェクターの構成 Web インターフェイスが開きます。

注:

- 既定のユーザー名は「admin」です。
- このセクションの手順は Windows 10 オペレーティングシステムに基づいています。

コンピュータからプロジェクタに直接接続しているとき*

1. プロジェクターの DHCP オプションを [オフ] にします。
2. プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を構成します ([コントロール > LAN])。
3. PC の [ネットワークとインターネット] ページを開き、プロジェクターに設定されている値と同一のネットワークパラメーターを PC に割り当てます。[OK] をクリックしてパラメーターを保存します。



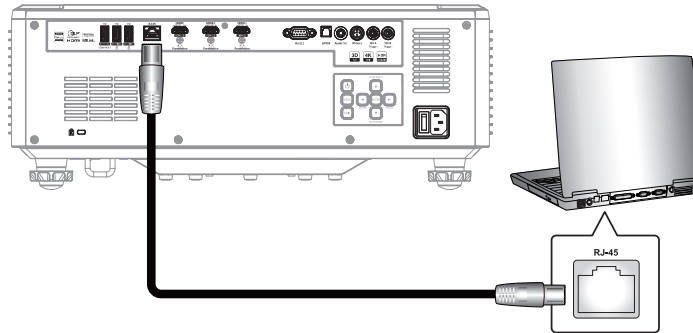
4. PC で Web ブラウザを開き、手順 3 で割り当てた IP アドレスとポートを URL フィールドに入力します。[Enter] キーを押します。

注: ポートテーブルについては、53 ページを参照してください。

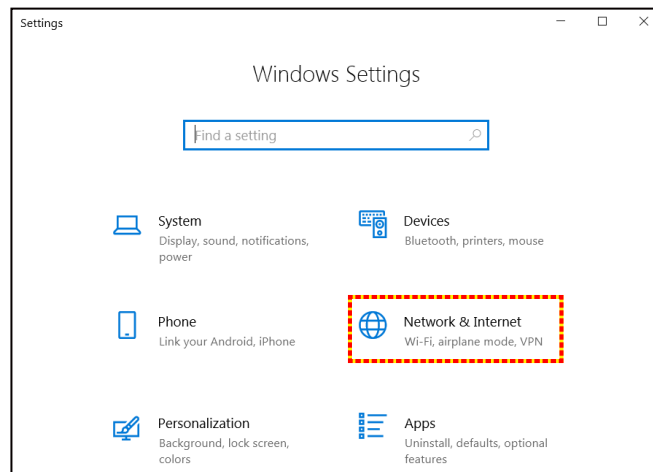
プロジェクターを使用する

LAN RJ45

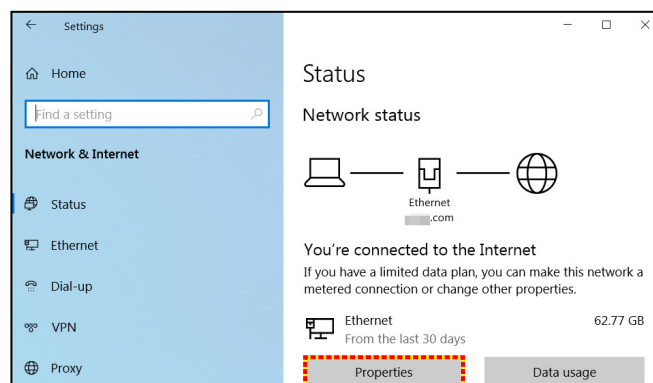
1. プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 ポートに RJ45 ケーブルを接続します。



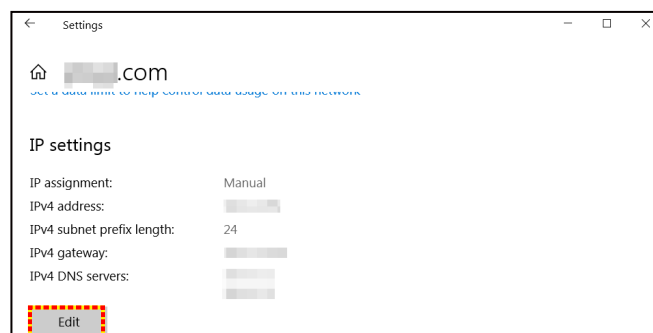
2. PC (ラップトップ) で、[スタート]  > [設定]  > [ネットワークとインターネット] を選択します。



3. [イーサネット] セクションで、[プロパティ] を選択します。

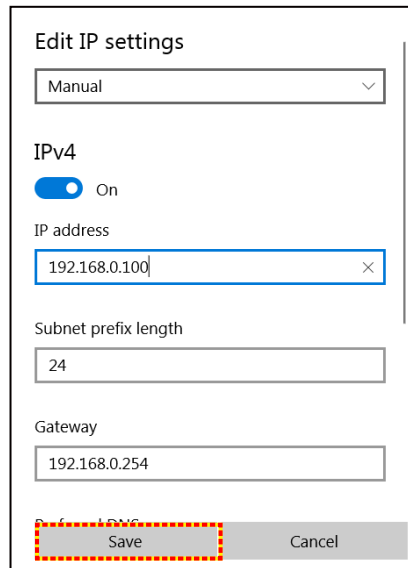


4. [IP 設定] セクションで、[編集] を選択します。



プロジェクターを使用する

5. IP アドレスとゲートウェイを入力し、[保存] を選択します。



Edit IP settings

Manual

IPv4

On

IP address

192.168.0.100

Subnet prefix length

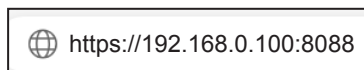
24

Gateway

192.168.0.254

Save Cancel

6. プロジェクターの [メニュー] ボタンを押します。
7. プロジェクターで **コントロール > LAN** の順に開きます。
8. 次の接続パラメーターを入力します。
 - DHCP: オフ
 - IP アドレス: 192.168.0.100
 - サブネットマスク: 255.255.255.0
 - ゲートウェイ: 192.168.0.254
 - DNS: 192.168.0.51
9. [Enter] を押し、設定を確定します。
10. Adobe Flash Player 9.0 以降がインストールされた Microsoft Edge または Chrome などの Web ブラウザーを開きます。
11. アドレス バーに、プロジェクターの IP アドレスとポートを入力します: 192.168.0.100 : 8088。



https://192.168.0.100:8088

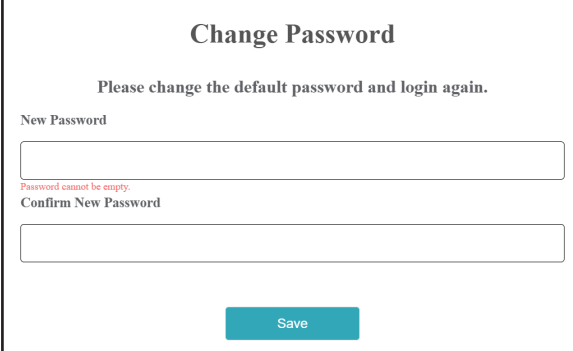
12. [Enter] を押します。

プロジェクターを使用する

このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能に次のように表示されます。

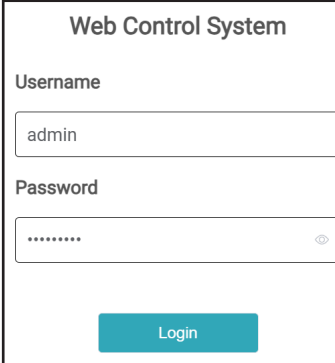
ログイン

初めて Web ページを開くと、以下のような画面が表示されます。
デフォルトのパスワードを変更してください。



The image shows a web form titled "Change Password". Below the title is the instruction "Please change the default password and login again." There are two input fields: "New Password" and "Confirm New Password". A red error message "Password cannot be empty." is visible below the "New Password" field. At the bottom of the form is a teal "Save" button.

デフォルトのパスワードを変更した後は、再度ログインする必要があります。Web ページを開いたら、「パスワード」フィールドに新しいパスワードを入力し、**[ログイン]** をクリックします。



The image shows a web form titled "Web Control System". It has two input fields: "Username" with the value "admin" and "Password" with masked characters ".....". A teal "Login" button is at the bottom.

プロジェクターを使用する

Administrator

ここで設定したプロジェクター名は PJLink 制御でも使用されます。プロジェクター名として使用できるのは英数字のみです。最大文字数は 32 文字です。

パスワードには英数字のみを使用できます。最小文字数は 8 文字です。無効な文字を入力すると、「無効な文字です」という警告が表示されます。

新しいパスワードの文字と確認 (新しい) パスワードの文字が一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。この場合は、パスワードを再入力してください。

The screenshot shows the Administrator interface. On the left is a navigation menu with options: Administrator, Projector Control, Alert Setup, Network Setup, Information, Crestron V2, and Logout. The main content area is divided into two sections. The 'Projector Information' section has two text input fields: 'Projector Name' (containing 'VDUHZLBLV') and 'Projector ID' (containing '0'). Below these is a 'Save' button. The 'Change Password' section has three text input fields: 'Old Password', 'New Password', and 'Confirm New Password', each with a placeholder 'please input...'. Below these is another 'Save' button.

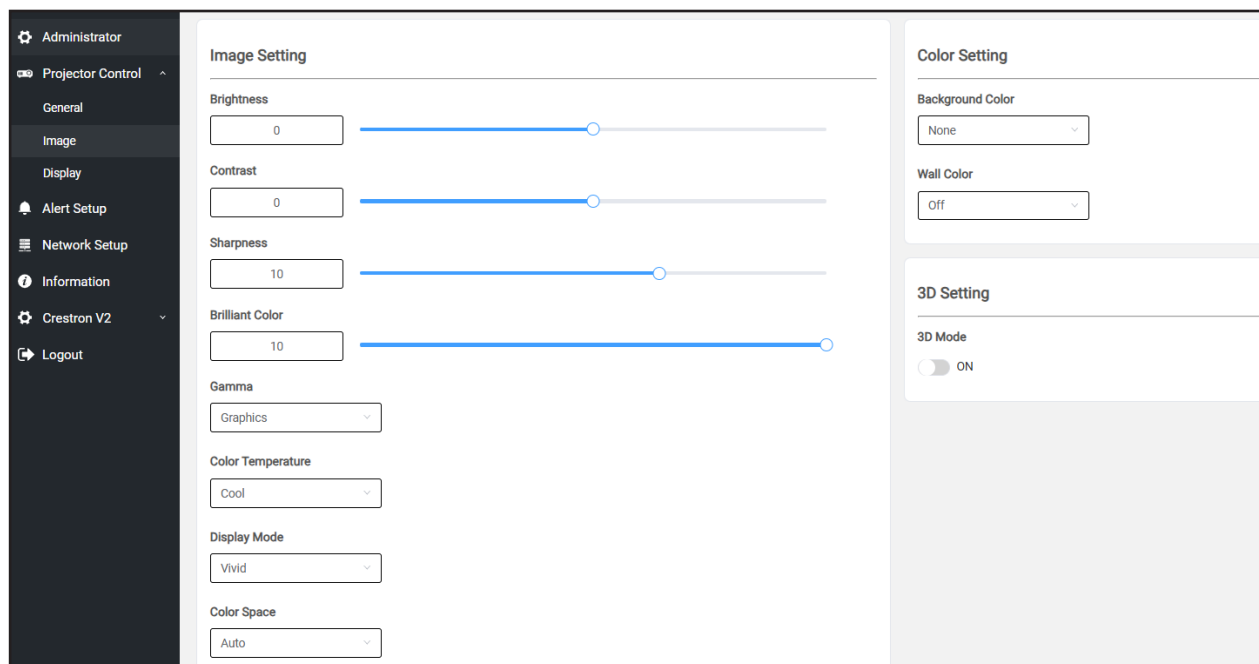
プロジェクター制御

この項目でプロジェクターを制御できます。ここでは、制御する項目について説明します。

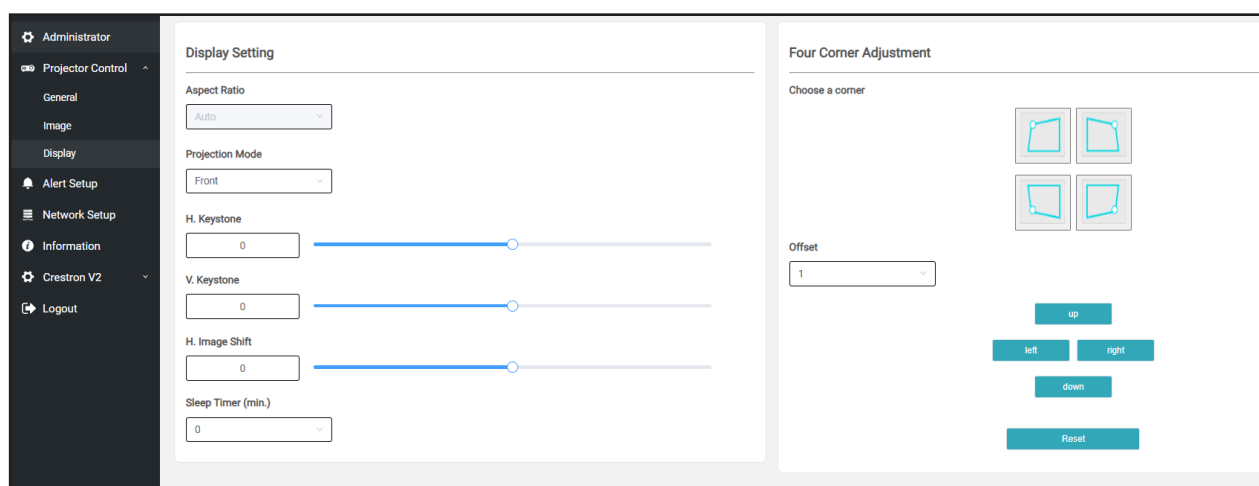
The screenshot shows the Administrator interface for projector control. The left navigation menu is the same as in the previous screenshot. The main content area is divided into two sections. The 'General Control' section includes: 'Power' (ON), 'Resync' (button), 'Reset OSD' (button), 'AV Mute' (OFF), 'Freeze' (OFF), 'High Altitude' (OFF), 'Direct Power On' (OFF), 'Source' (dropdown menu showing 'Home'), '12V Trigger A' (OFF), and '12V Trigger B' (OFF). The 'Volume Setting' section includes: 'Mute' (OFF), 'Volume' (slider set to 5), 'Power Setting' (dropdown menu showing 'Eco.'), and 'Brightness Mode' (dropdown menu showing 'Power 100%').

[全般]

プロジェクターを使用する



[画像]



[ディスプレイ]

プロジェクターを使用する

アラート設定

エラーが発生したときにメールアラートを送信できます。このセクションでは、アラートメールの設定を行うことができます。

1. アラートの種類: アラートメールを送信するエラーの種類にチェックを入れます。
2. アラートメール通知: 次の設定を確認して実行します。
 - SMTP 設定: 以下を設定します。
 - a) SMTP サーバー: サーバーアドレス (サーバー名) (SMTP サーバー)
 - b) ポート: SMTP セキュアポート。例25、465、587、2525
 - c) ユーザー名: メールサーバーのユーザー名
 - d) パスワード: メールサーバーのパスワード
 - e) 差出人: 送信者のメールアドレス
 - メール設定: 以下を設定します。
 - a) メールの件名
 - b) メールの内容
 - c) 宛先: 送信者のメールアドレスを入力します。
3. 「保存」をクリックして値を固定します。
4. テストメールを送信します。

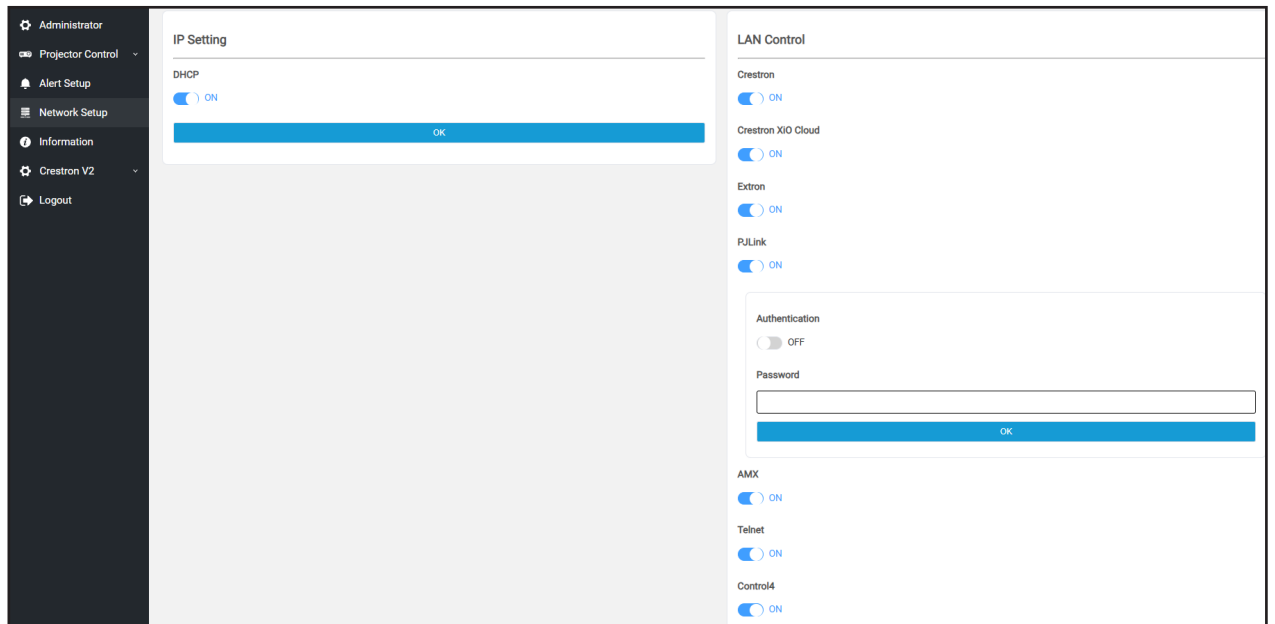
[テストメール送信] をクリックすると、テストメールが送信されます。テキストは「Email Test xxx.xxx.xxx.xxx *」になります。

The screenshot shows the 'Alert Setup' configuration page. On the left is a dark sidebar with navigation items: Administrator, Projector Control, Alert Setup (selected), Network Setup, Information, Crestron V2, and Logout. The main content area is divided into three panels. The top panel, 'Alert Setting', contains a section for 'Alert Mail Notification' with a toggle switch set to 'OFF'. The middle panel, 'Email Setting', has three input fields: 'Mail Subject' containing 'Alert from projector system', 'Mail Content' containing 'An error/warning was generated by projector system that requires your attention.', and 'To' containing '-'. Below these fields are 'Save' and 'Send Test Mail' buttons. The right panel, 'Alert Type', lists three error types with toggle switches: 'Fan Error' (OFF), 'LightSource Error' (OFF), and 'High Temp Warning' (OFF).

プロジェクターを使用する

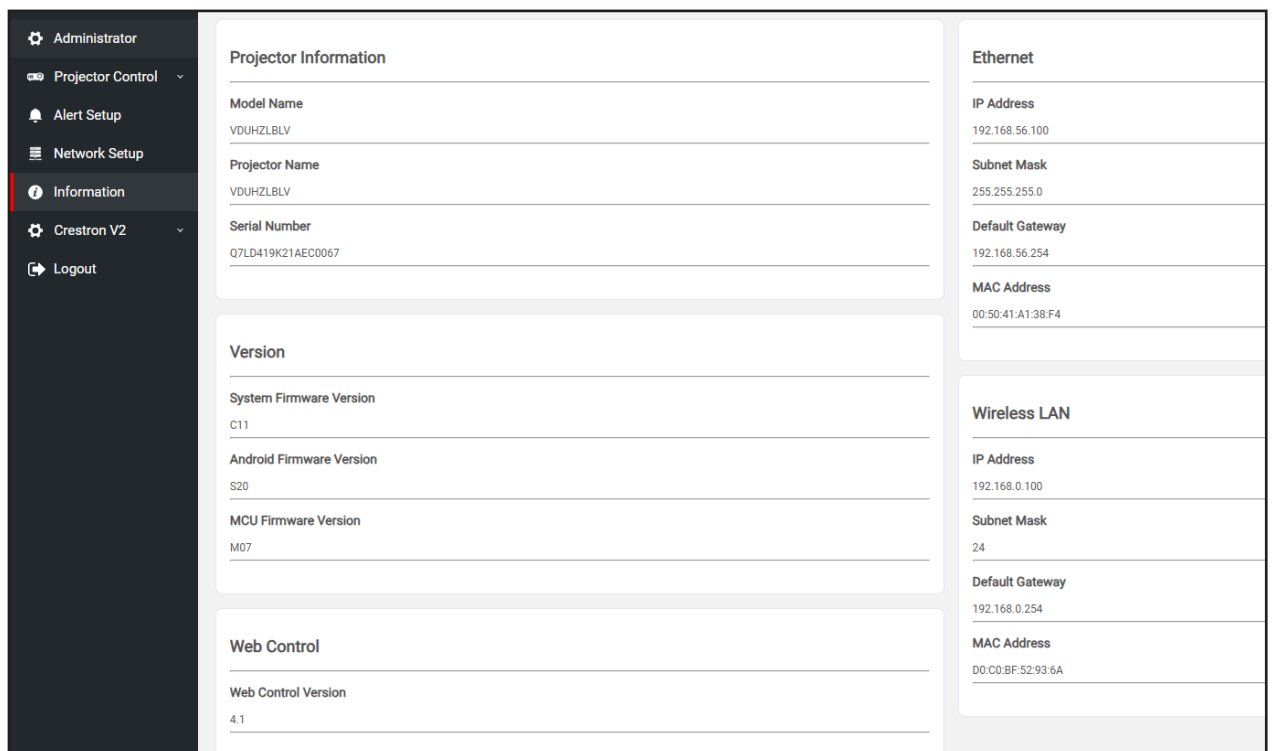
ネットワーク設定

プロジェクターのネットワークを設定します。



情報

プロジェクターの現在のステータスが表示されます。プロジェクターのモデル名、ファームウェアバージョン、Web コントロールバージョン、現在のネットワーク構成を確認できます。



プロジェクターを使用する

Crestron V2

接続ステータスを表示し、Crestron 関連の設定を構成します。

The screenshot shows the Crestron V2 configuration page. On the left is a dark sidebar with navigation options: Administrator, Projector Control, Alert Setup, Network Setup, Information, Crestron V2 (expanded), Configuration, Certificate Upload, and Logout. The main content area is split into two panels. The left panel, titled 'XIO Cloud', shows a 'Connection Status' section with a red disconnected icon and the text 'XIO Cloud'. The right panel, titled 'Crestron V2', shows a 'Connection Status' section with a red disconnected icon and the text 'Control System'. Below this is an 'Interface' dropdown menu set to 'Control System'. There are two 'Secure' toggle switches, both set to 'OFF'. An 'Auto Discovery' toggle switch is also set to 'OFF'. The 'IP Address' field contains the placeholder text 'please input...'. The 'IP ID' field contains the number '2'. The 'Port' field contains the number '41794'. A blue 'Connect' button is located at the bottom right of the Crestron V2 panel.

[構成]

The screenshot shows the Crestron V2 configuration page with the 'Certificate Upload' option selected in the sidebar. The main content area is split into two panels. The left panel, titled 'Control System & VC4', has a 'Choose File' section with 'Select', 'Upload', and 'Clear' buttons. Below this is a blue bar with the text 'Delete all certificates'. The right panel, titled 'Fusion', also has a 'Choose File' section with 'Select', 'Upload', and 'Clear' buttons. Below this is a blue bar with the text 'Delete all certificates'.


[証明書のアップロード]

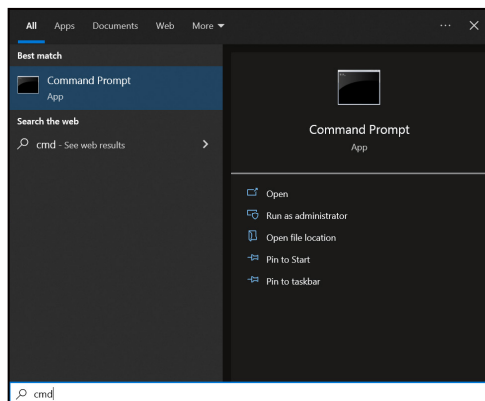
プロジェクターを使用する

[RS232 by Telnet] 機能

制御の代替方法として、このプロジェクターには、LAN/RJ45 インターフェイス用の TELNET による RS232 コマンド制御があります。

[RS232 by Telnet] のクイックスタートガイド

- プロジェクターの OSD で IP アドレスを確認します。
 - PC/ラップトップがプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。
 - PC/ラップトップが [TELNET] 機能を拒否する場合、[Windows ファイアウォール] 設定が無効になっていることを確認します。
1. **[検索]**  をクリックし、検索語として「cmd」と入力します。「Enter」キーを押します。



2. コマンドプロンプトアプリを開きます。
3. コマンドを次の形式で入力します。
 - telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 ([Enter] キーを押す)
 - (ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレス)
4. Telnet 接続の準備ができており、ユーザーが RS232 コマンドを入力できる場合は、「Enter」キーを押すと、Telnet 接続で RS232 コマンド制御の準備が整います。

[RS232 by TELNET] の仕様:

1. Telnet: TCP。
2. Telnet ポート: 23 (詳細については、Optoma サービスチームにお問い合わせください)。
3. Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
4. Telnet セッションを終了するには、コマンドプロンプトアプリウィンドウを閉じます。
5. TELNET 接続準備完了直後の Windows Telnet ユーティリティ。
 - Telnet 制御の制限 1: Telnet-Control アプリケーションの連続するネットワークペイロードは 50 バイトを超えることはできません。
 - Telnet 制御の制限 2: Telnet-Control の連続する RS232 コマンドは、26 バイトを超えることはできません。
 - Telnet 制御の制限 3: 次のコマンドの最小遅延は 200 (ミリ秒) を超えている必要があります。

リセット

コントロール設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

情報メニュー

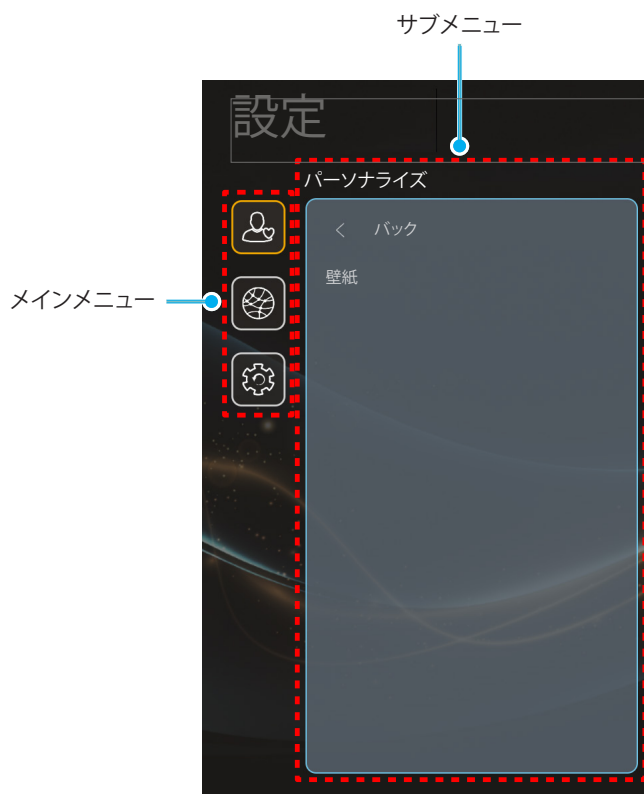
プロジェクターのステータスと設定に関する情報を表示します。プロジェクター情報は読み取り専用です。

- 制御
- シリアル番号
- ソース情報
- ピクチャモード
- カラー情報
- 電源モード(スタンバイ)
- Light Source Hours
- 輝度モード
- デバイスID
- IP アドレス
- ネットワーク情報
- MACアドレス
- Bluetooth リモート Status
- FWバージョン

プロジェクターを使用する

システム設定

ランチャー画面で、設定メニュー (⚙️) を選択して、各種システム設定を構成してください。



設定メニューツリー

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
パーソナライズ	壁紙			
ネットワーク	Wireless	Wi-Fi		オフ
				オン
		利用可能なネットワークSSID (Wi-Fi がオンであるとき)	パスワードの入力 [Wi-Fi 名]	
			インターネット接続	
			IP アドレス	
			MACアドレス	
			サブネットマスク	
			ゲートウェイ	
			DNS 1	
			DNS 2	
			信号強度	
			プロキシ設定	なし Manual
			IP 設定	DHCP 静的
			キャンセル	
消去				

プロジェクターを使用する

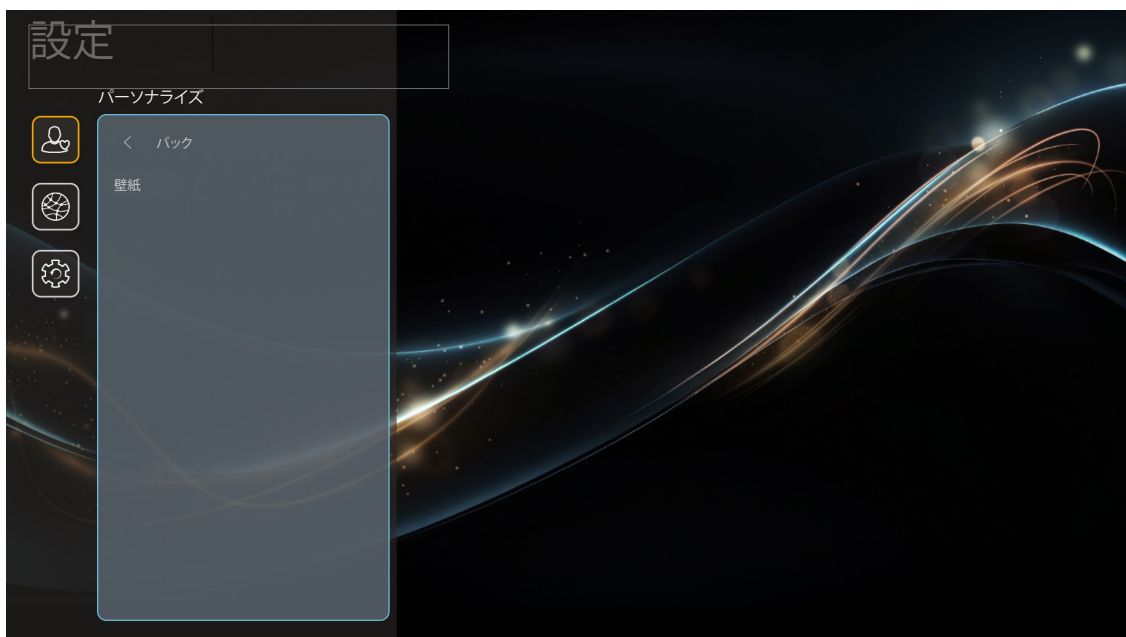
レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値	
ネットワーク	Wireless	その他のオプション	新しいネットワークを追加		
			ポータブルホットスポット	ポータブル Wi-Fi	オン
				ホットスポット	オフ
				ネットワーク名	
				セキュリティ	
			パスワード		
System	Display Share				
	File Manager				
	キーボード	Current keyboard			
		Manage keyboards	Other Keyboard	オン	
				オフ	
		Kika キーボード	オン		
			オフ		
	日付および時刻	タイムゾーンを選択		-12:00、-11:00、-10:00、-09:30、 -09:00、-08:00、-07:00、-06:00、 -05:00、-04:00、-03:30、-03:00、 -02:00、-01:00、00:00、+01:00、 +02:00、+03:00、+03:30、+04:00、 +04:30、+05:00、+05:30、+05:45、 +06:00、+06:30、+07:00、+08:00、 +08:30、+8:45、+09:00、+09:30、 +10:00、+10:30、+11:00、+12:00、 +12:45、+13:00、+14:00	
		夏時間		オン	
				オフ	
	24時間表示の使用		オン		
			オフ		
	システム更新				
	法的	利用規約			
		プライバシーポリシー			
クッキーに関するポリシー					
オープンソースライセンス					

注:

- 機能は、モデル定義により異なります。
- 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

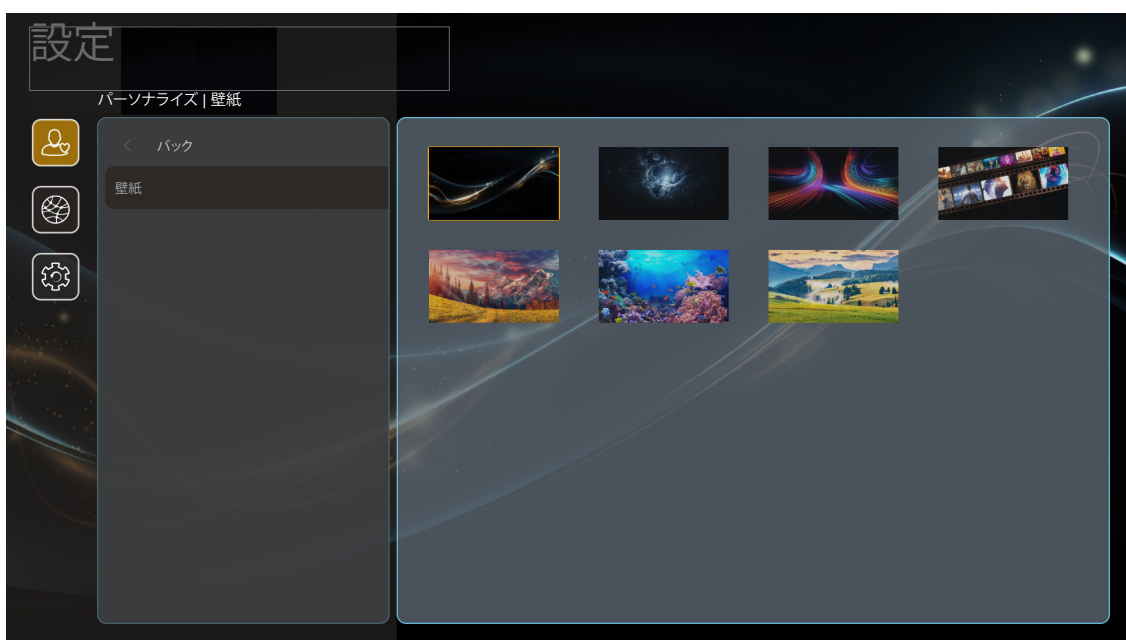
プロジェクターを使用する

メニューのパーソナライズ



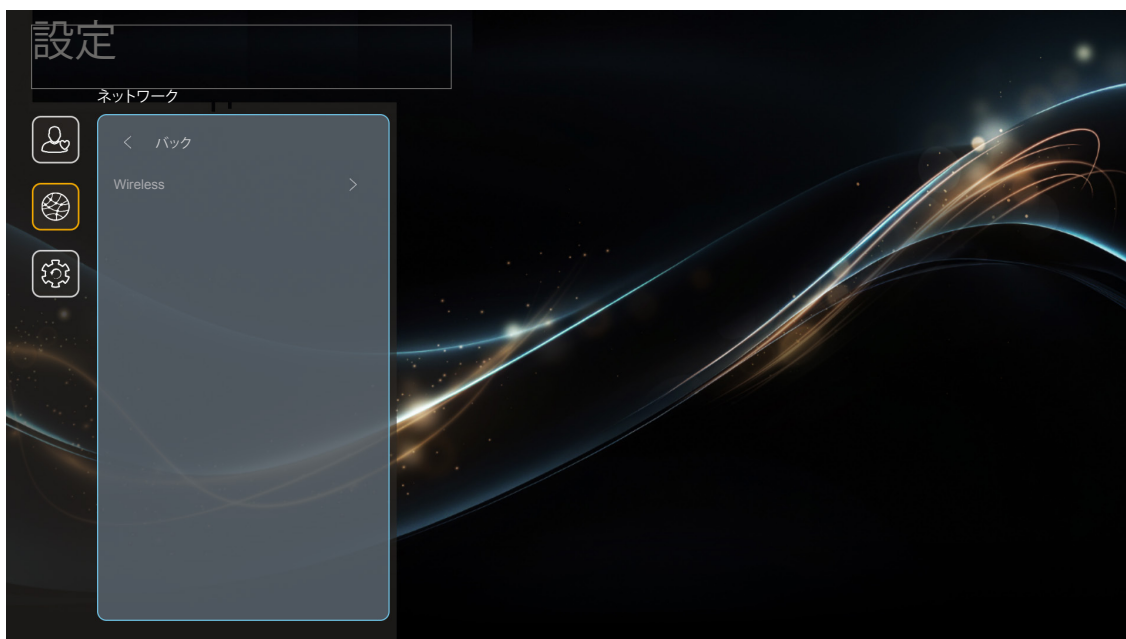
壁紙

ホーム画面の壁紙を設定します。



プロジェクターを使用する

ネットワークメニュー



Wireless

ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

- **Wi-Fi:** Wi-Fi オプションを「オン」に設定して、ワイヤレスネットワーク機能を無効にします。
- **利用可能なネットワーク SSID:** 目的のワイヤレスアクセスポイントを選択し、例えば、パスワード、プロキシ設定、IP アドレスなどの必要な接続パラメータを入力または構成してください (必要に応じて)。情報につちえ、信号強度を確認できます。
設定を保存せず、ネットワークメニューに戻るには、「キャンセル」を選択してください。ワイヤレスネットワークプロファイルを削除するには、「消去」を選択してください。
注: 記号の入力が必要な場合、システムは、オンスクリーンキーボードを自動的にポップアップ表示します。
- **その他のオプション:** 「新しいネットワークを追加」(ネットワーク名を手動で入力します)、「ポータブル ホットスポット」(他のデバイスに対するワイヤレスアクセスポイントとして動作するように、プロジェクターを構成します) などの詳細ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

プロジェクターを使用する

システムメニュー



Display Share

Display Share アプリを起動します。72 ページ を参照してください。

File Manager

File Manager アプリを起動します。73 ページ を参照してください。

キーボード

キーボードを選択して管理します。

日付および時刻

日時設定を構成してください。

- **タイムゾーンを選択:** タイムゾーンを選択してください。
- **夏時間:** お住まいの地域で夏時間が採用されている場合は、「オン」に設定してください。
- **24時間表示の使用:** 24 時間フォーマットで時刻を表示する場合は、「オン」に設定してください。12 時間フォーマット (AM/PM) で時刻を表示する場合は、「オフ」に設定してください。

システム更新

プロジェクターがインターネット (OTA) に接続されるとき、システムは、更新を自動的に検索します。

法的


「利用規約」、「プライバシーポリシー」、「クッキーに関するポリシー」、「オープンソースライセンス」を含む法的文書を確認してください。

注: オンラインでも法的文書を確認できません。次の Web アドレスを参照してください:

- **利用規約:** <https://www.optoma.com/terms-conditions/>。
- **クッキーに関するポリシー:** <https://www.optoma.com/cookies-policy/>。
- **プライバシーポリシー:** <https://www.optoma.com/software-privacy-policy/>。

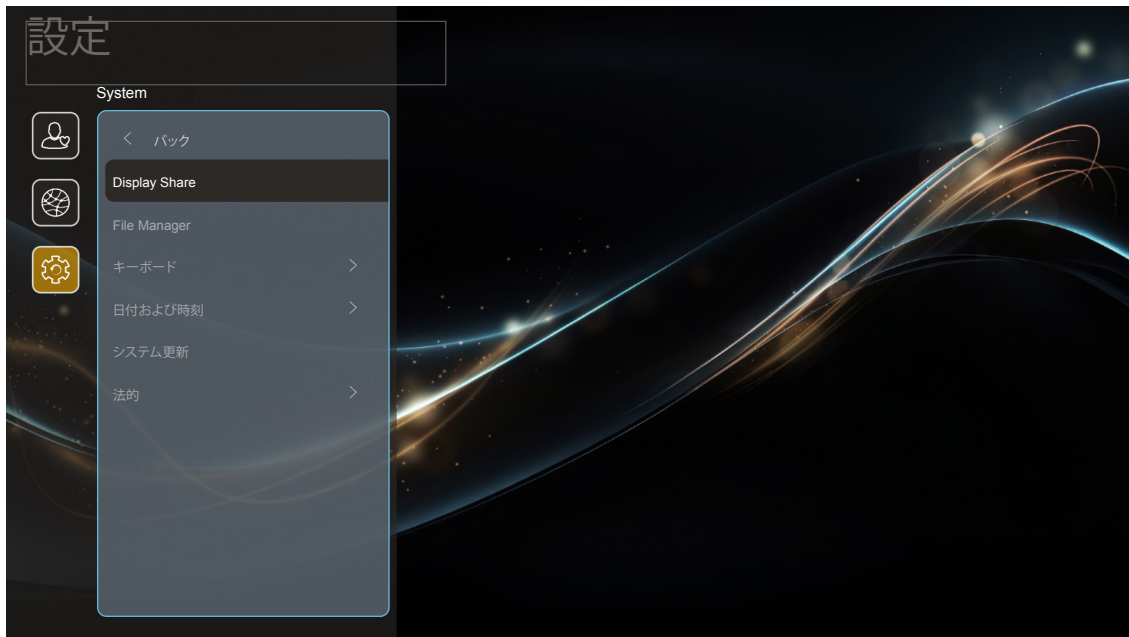
プロジェクトターを使用する

入力ソースを手動で選択する

自動ソース機能がオフになっていて、希望の入力ソースがホーム画面に表示されない場合は、ホーム画面で (📄) を選択するか、リモコンの  ボタンを押して、希望の入力ソースを選択します。

アプリの選択

インストールされているすべてのアプリを表示するには、**[設定]** メニュー (⚙️) を選択します。次に、目的のアプリ (**Display Share** または **File Manager**) を選択します。



プロジェクターを使用する

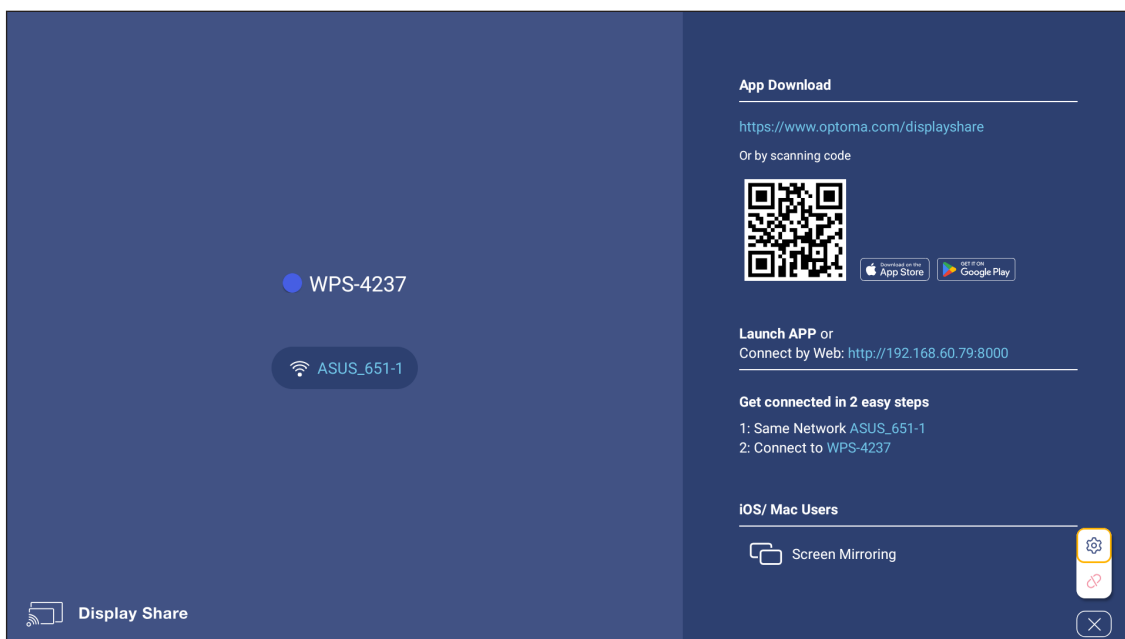
Display Share

アプリを入手するには、次のいずれかを実行してください:

- モバイルデバイスを使用している場合は、画面上の QR コードをスキャンしてください。
- コンピューターを使用している場合は、リンクにアクセスしてください。

次に、コンピューターまたはモバイルデバイスに Display Share アプリをインストールします。

開始する前に、コンピューターまたはモバイルデバイスをプロジェクターと同じ Wi-Fi に接続してください。次に、画面の指示に従ってアプリを操作してください。



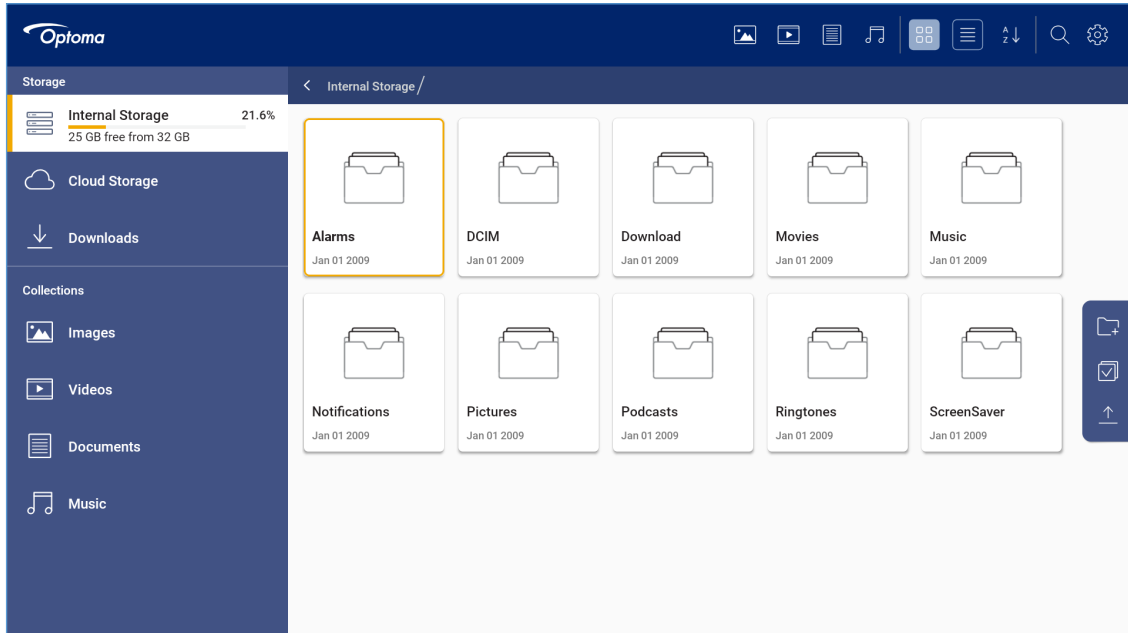
注:

- iOS 画面ミラーリング機能を最初にアクティブ化するには、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してから、Display Share アプリを起動してください。この初期手順を実行する必要があるのは 1 回だけです。初期接続が確立された後は、iOS 画面ミラーリング機能を後で使用するために Display Share アプリを開く必要はありません。
- この機能を使用するには、イーサネットを接続して設定するか、Optoma EZC-USB Wi-Fi アダプター (オプションのアクセサリ、パッケージには含まれていません) を使用する必要があります。

プロジェクトターを使用する

File Manager

File Manager アプリを使用すると、内部ストレージ、外部ストレージ、クラウドストレージに保存されているファイルを管理することができます。



注: この機能を使用するには、イーサネットを接続して設定するか、Optoma EZC-USB Wi-Fi アダプター (オプションのアクセサリ、パッケージには含まれていません) を使用する必要があります。

追加情報

対応解像度

HDMI 入力信号

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	Mac に関する注記
VGA	640x480	60/67/72/75	Mac 60/75
	720x400	70	
SVGA	800x600	56/60/72/75	Mac 60/75
	832x624	75	Mac 75
XGA	1024x768	60/70/75/120	Mac 60/70/75
SDTV(480P)	720x480	60	
SDTV(576P)	720x576	50	
HDTV(720P)	1280x720	60/120	Mac 60
WXGA	1280x800	60	Mac 60
	1440x900	60	
WXGA	1366x768	60	
SXGA	1280x1024	60/75	Mac 60/75
	1440x900	60	
SXGA+	1400x1050	60	
UXGA	1600x1200	60	
HDTV(1080i)	1920x1080	60	
HDTV(1080p)	1920x1080	24/50/60/120/240	Mac 60
WQHD	2560x1440	120	
UHD(2160p)	3840x2160	24/30/50/60/120	
	4096x2160	24/50/60/120	

3D サポートタイミング

HDMI1.4a 3D タイミング (Blue-Ray 3D の場合)

信号	タイミング
720p (フレームパッキング)	1280x720@50Hz
720p (フレームパッキング)	1280x720@60Hz
1080p (フレームパッキング)	1920x1080@23.98/24Hz
720p (トップアンドボトム)	1280x720@50Hz
720p (トップアンドボトム)	1280x720@60Hz
1080p (トップアンドボトム)	1920x1080@23.98/24Hz
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920x1080@50(25)Hz
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920x1080@60(30)Hz

PC 3D タイミング

信号	タイミング
フレームシーケンシャル	1920x1080@120Hz
	1280x720@120Hz
	1024x768@120Hz

追加情報

マルチメディア仕様 - ビデオ、オーディオ、写真

ビデオコーデック	コンテナ
VP9	MKV (.mkv)
	WebM (.webm)
	MP4 (.mp4)
HEVC/H.265	MP4 (.mp4, .mov)
	MPEG 転送ストリーム (.ts, .trp, .tp)
	MKV (.mkv)
MPEG1/2	MPEG プログラムストリーム (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)
	MPEG 転送ストリーム (.ts, .trp, .tp)
	MP4 (.mp4)
	AVI (.avi)
MPEG4	MKV (.mkv)
	MP4 (.mp4, .mov)
	3GPP (.3gp)
	AVI (.avi)
H.263	MKV (.mkv)
	MP4 (.mp4, .mov)
	3GPP (.3gpp, .3gp)
	AVI (.avi)
H.264	MKV (.mkv)
	FLV (.flv)
	MP4 (.mp4, .mov)
	3GPP (.3gp)
	MPEG 転送ストリーム (.ts, .trp, .tp)
	ASF (.asf)
	WMV (.wmv)
	AVI (.avi)
MKV (.mkv)	
VC1	MKV (.mkv)
	MPEG 転送ストリーム (.ts, .trp, .tp)
	ASF (.asf)
	WMV (.wmv)
Motion JPEG	AVI (.avi)
	MP4 (.mp4, .mov)
	MKV (.mkv)
VP8	MKV (.mkv)
	WebM (.webm)
AV1	MP4 (.mp4, .mov)
	3GPP (.3gpp, .3gp)
	MKV (.mkv)

追加情報

オーディオコーデック	コンテナ
MPEG1/2 Layer1	MP3 (.mp3)
	AVI (.avi)
	ASF (.asf)
	Matroska (.mkv、.mka)
	MP4 (.mp4、.mov、.m4a)
	MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
	MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
	WAV (.wav)
MPEG1/2 Layer2	AVI (.avi)
	Matroska (.mkv、.mka)
	MP4 (.mp4、.mov、.m4a)
	MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
	MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
	WAV (.wav)
MPEG1/2/2.5 Layer3	MP3 (.mp3)
	AVI (.avi)
	ASF (.asf)
	Matroska (.mkv、.mka)
	3GPP (.3gpp、.3gp)
	MP4 (.mp4、.mov、.m4a)
	MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
	MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
	FLV (.flv)
WAV (.wav)	
AC3 (DD) (Dolby Digital)	AC3 (.ac3)
	AVI (.avi)
	Matroska (.mkv、.mka)
	MP4 (.mp4、.mov、.m4a)
	MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
	MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
EAC3 (DDP) (Dolby Digital Plus)	EAC3 (.ec3)
	3GPP (.3gpp、.3gp)
	MP4 (.mp4、.mov、.m4a)
	MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
	MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
AAC-LC、HEAAC	AAC (.aac)
	AVI (.avi)
	Matroska (.mkv、.mka)
	3GPP (.3gpp、.3gp)
	MP4 (.mp4)
	MP4 (.m4a)
	MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
	MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
	FLV (.flv)
	RM (.rm、.rmvb、.ra) WAV (.wav)
VORBIS	Matroska (.mkv、.mka)
	WebM (.webm)
	Ogg (.ogg)

追加情報

オーディオコーデック	コンテナ
DTS	MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
	MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
	WAV (.wav)
	Matroska (.mkv、.mka)
DTS Master Audio	MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp、.mts)
	MP4 (.mp4、.mov)
LPCM	WAV (.wav)
	AVI (.avi)
	Matroska (.mkv、.mka)
	3GPP (.3gpp、.3gp)
	MP4 (.mp4、.mov、.m4a)
	MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
	MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
IMA-ADPCM MS-ADPCM	WAV (.wav)
	AVI (.avi)
G711 A/mu-law	WAV (.wav)
	AVI (.avi)
	Matroska (.mkv、.mka)
	3GPP (.3gpp、.3gp)

写真コーデック	コンテナ
写真	.jpg、.jpeg
	.png
	.bmp

追加情報

EDID (Digital)

B0/確立タイミング			B0/標準タイミング			B0/詳細タイミング	
解像度	垂直 [Hz]	水平 [KHz]	解像度	垂直 [Hz]	比率	解像度	垂直 [Hz]
720x400	70.0	31.5	1024x768	120.0	04:03	3840x2160	60.0
640x480	60.0	31.5	1280x720	60.0	16:09		
640x480	66.6(67)	34.9	1280x720	120.0	16:09		
640x480	72.0	37.9	1280x800	60.0	16:10		
640x480	75.0	37.5	1280x1024	60.0	05:04		
800x600	56.0	35.1	1440x900	60.0	16:10		
800x600	60.0	37.9	1400x1050	60.0	04:03		
800x600	72.0	48.1	1600x1200	60.0	04:03		
800x600	75.0	46.9					
832x624	75.0	48.9					
1024x768	60.0	48.4					
1024x768	70.0	56.5					
1024x768	75.0	60.0					
1280x1024	75.0	80.0					
1152x870	75.0	67.5					

B1/ビデオモード		B1/詳細タイミング		
解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	Normal
640x480p 4:3	60.0	1920x1080	240.00	V
720x480p 16:9	60.0	2560x1440	120.00	V
1280x720p 16:9	60.0			
1920x1080i 16:9	60.0			
1920x1080p 16:9	60.0			
720x576p 16:9	50.0			
1280x720p 16:9	50.0			
1920x1080i 16:9	50.0			
1920x1080p 16:9	50.0			
1920x1080p 16:9	24.0			
1920x1080p 16:9	120.0			
2560 x 1080p 64:27	50.0			
2560 x 1080p 64:27	60.0			
3840 x 2160p 16:9	24.0			
3840 x 2160p 16:9	30.0			
3840 x 2160p 16:9	50.0			
3840 x 2160p 16:9	60.0			
4096 x 2160p 256:135	24.0			
4096 x 2160p 256:135	60.0			
3840x2160 16:9	120.0 * HDMI 2.1 のみ			
4096x2160 256:135	120.0 * HDMI 2.1 のみ			

追加情報

オーディオデータ			
フォーマット	eARC	SPDIF	LPCM
LPCM(IEC 60958 PCM[30、31])	✓	✓	✓
Dolby Digital(5.1)	✓	✓	
DTS	✓	✓	✓
Dolby Digital Plus(7.1)	✓		
DTS-HD	✓	✓	✓
Dolby TrueHD/MAT	✓		
ATMOS Passthrough	✓		

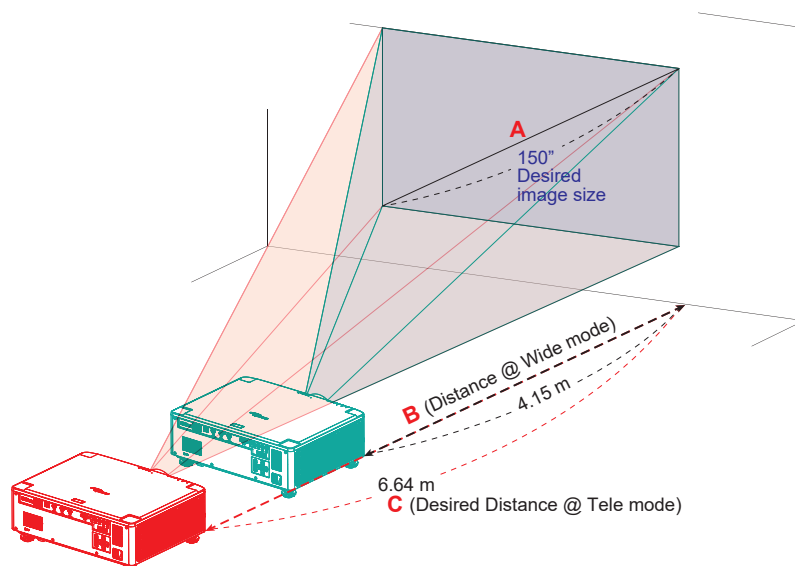
追加情報

画像サイズと投影距離

目標距離 (m) <C>	画面サイズ		上端	画面サイズ	
	(最小ズーム)		ベースから画像の上部まで (cm)	(最大ズーム)	
	対角 (インチ) <A>	横 (cm) x 縦 (cm)		対角 (インチ) <C>	横 (cm) x 縦 (cm)
3.54	80	177 x 100	100	128	283 x 159
3.99	90	199 x 112	112	144	319 x 179
4.43	100	221 x 125	125	160	354 x 199
5.31	120	266 x 149	149	192	425 x 239
5.76	130	288 x 162	162	208	460 x 259
6.64	150	332 x 187	187	240	531 x 299
7.53	170	376 x 212	212	272	602 x 339
7.97	180	398 x 224	224	288	638 x 359
8.86	200	443 x 249	249	320	708 x 398
9.74	220	487 x 274	274	352.00	779 x 438
11.07	250	553 x 311	311	400.00	886 x 498
13.28	300	664 x 374	374	480.01	1063 x 598

注: ズーム比: 1.6 x

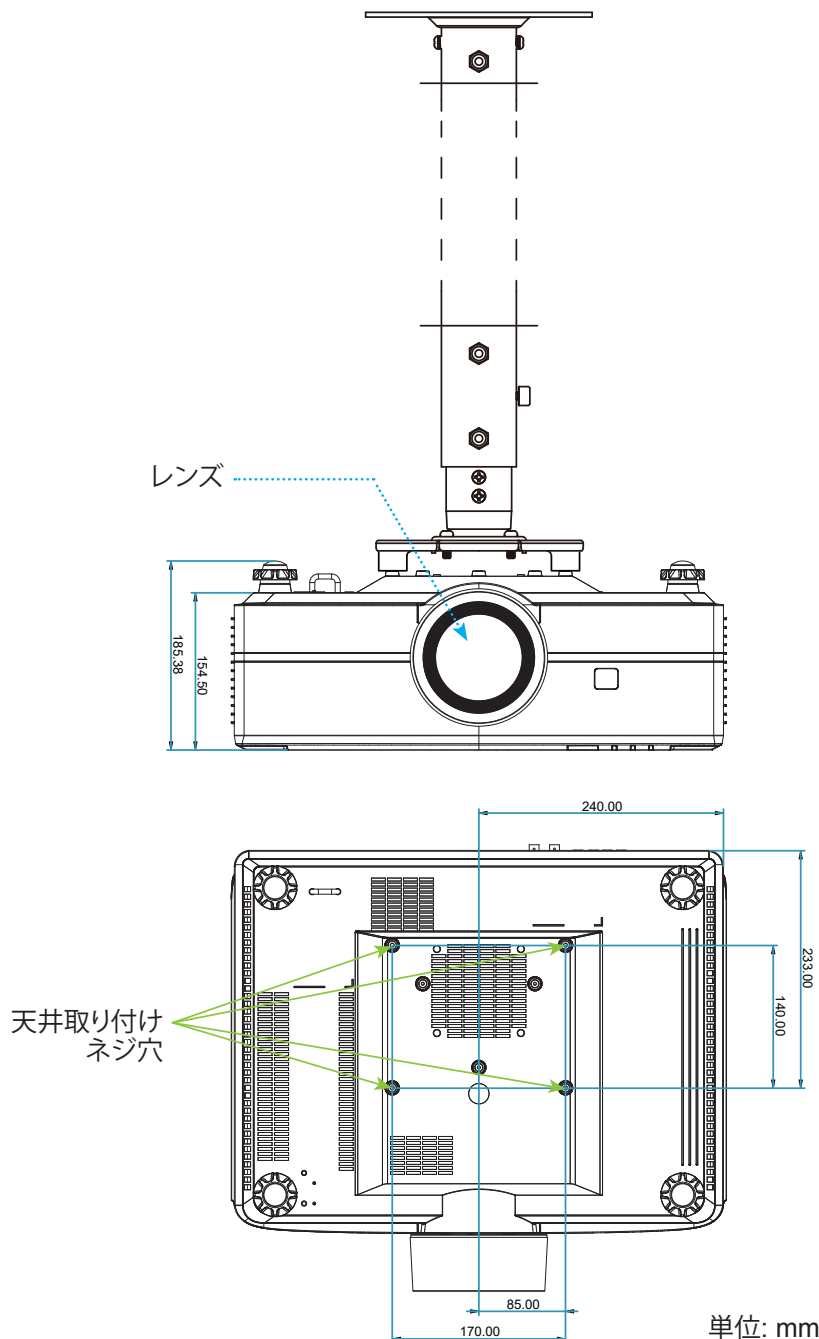
希望のイメージサイズ			距離 (m)	
対角 (インチ) <A>	対角 (m)	横 (cm) x 縦 (cm)	最大ズーム (広角)	最小ズーム <C> (望遠)
80	2.03	177 x 100	2.21	3.54
90	2.29	199 x 112	2.49	3.98
100	2.54	221 x 125	2.77	4.43
120	3.05	266 x 149	3.32	5.31
130	3.30	288 x 162	3.6	5.76
150	3.81	332 x 187	4.15	6.64
170	4.32	376 x 212	4.7	7.53
180	4.57	398 x 224	4.98	7.97
200	5.08	443 x 249	5.53	8.86
220	5.59	487 x 274	6.09	9.74
250	6.35	553 x 311	6.92	11.07
300	7.62	664 x 374	8.3	13.28



追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず、Optoma の天井吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天井吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
 - ネジの種類: M4*8 (4 個)
 - 最小ネジ長: 8 mm



注: プロジェクターを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

追加情報



警告:














- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

IR リモートコード



キー	フォーマット	コード				
		カスタマーコード		DATA コード		
		DATA0	DATA1	DATA2	DATA3	
電源	⏻	F1	32	CD	71	8E
ピクチャモード	📺	F1	32	CD	05	FA
ソース	📡	F1	32	CD	C3	3C
HDMI 1	HDMI1	F2	32	CD	16	E9
HDMI 2	HDMI2	F2	32	CD	30	CF
HDMI 3	HDMI3	F2	32	CD	98	67
レンズメモリ	LENS MEMORY	F1	32	CD	D5	2A
ガンマ	GAMMA	F1	32	CD	7E	81
ダイナミックブラック	DYNAMIC BLACK	F1	32	CD	44	BB

追加情報

キー		フォーマット	コード			
			カスタマーコード		DATA コード	
			DATA0	DATA1	DATA2	DATA3
フィルムメーカーモード	FILMMAKER MODE	F1	32	CD	DF	20
PureEngine Ultra		F1	32	CD	D9	26
情報		F1	32	CD	DB	24
ユーザー1	ρ_1	F1	32	CD	36	C9
ユーザー2	ρ_2	F1	32	CD	65	9A
ユーザー3	ρ_3	F1	32	CD	66	99
アスペクト比		F1	32	CD	64	9B
HDR	HDR	F1	32	CD	DC	23
ALLM	ALLM	F2	32	CD	DD	22
レンズシフト	LENS SHIFT	F1	32	CD	D8	27
フォーカス	FOCUS	F1	32	CD	D7	28
上	^	F2	32	CD	11	EE
左	<	F2	32	CD	10	EF
決定	o	F1	32	CD	0F	F0
右	>	F2	32	CD	12	ED
下	v	F2	32	CD	14	EB
戻る		F1	32	CD	0D	F2
ホーム/ランチャー		F1	32	CD	A0	5F
Device Setup メニュー		F1	32	CD	A8	57
VOL+		F2	32	CD	8C	73
メインメニュー		F1	32	CD	0E	F1
ZOOM+		F2	32	CD	BC	43
VOL-		F2	32	CD	DA	25
ZOOM-		F2	32	CD	BD	42
ミュート		F1	32	CD	52	AD
AV 消音		F1	32	CD	03	FC

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

❓ スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 端子のピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

❓ 画像のピントが合っていない

- **[FOCUS]** ボタンを押し、画像が鮮明で判読可能になるまで [**◀▶**] ボタンを押します。(22 ページを参照してください。)
- 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(80 ページを参照してください。)

❓ 16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:9 フォーマットで最高の画像を表示します。
- 垂直ストレッチフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDで垂直ストレッチとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

❓ 画像が大きすぎるか、小さすぎる

- **[ZOOM]** ボタンを押し、プロジェクターのキーパッドの [**◀▶**] を押すと、投影される画像のサイズが拡大または縮小されます。(22 ページを参照してください。)
- プロジェクターをスクリーンに近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの [メニュー] を押して、[ディスプレイ → アスペクト比] に進みます。別の設定を試してみます。

❓ 画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

❓ 画像が反転する

- OSDから [設定 → 投射位置] を選択し、投射方向を調整します。

追加情報

その他の問題

- ❓ プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します
- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

- ❓ リモコンが作動しない場合、次を確認してください
- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから $\pm 15^\circ$ 以上ずれていないことを確認します。
 - リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクタから 6 m (19.7 フィート) 以内に移動する。
 - 電池が正しくセットされていることを確認する。
 - 古くなった電池は、新しいものと交換します。

追加情報

警告インジケータ

警告インジケータ (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

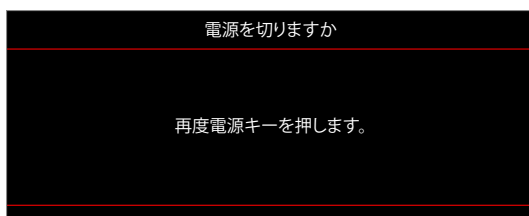
- [レーザー] LED インジケータが赤く点灯し、[電源] インジケータが赤色に点滅している場合。
- [温度] LED インジケータが赤く点灯し、[電源] インジケータが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- [温度] LEDインジケータが赤く点滅し、[電源] インジケータが赤く点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30 秒後に再試行します。警告インジケータが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

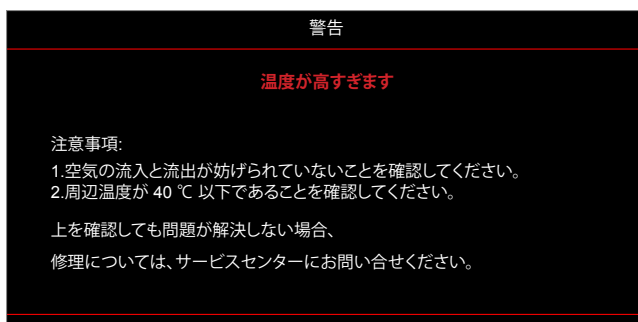
LED 点灯メッセージ

メッセージ	電源 LED		温度 LED	レーザー LED
	(赤色)	(緑)	(赤色)	(赤色)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯	-	-	-
電源オン (ウォーミング)	-	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)	-	-
電源オンおよびランプ	-	点灯	-	-
電源オフ (冷却中)	-	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)。 冷却ファンがオフになると、 赤色の点灯に戻ります。	-	-
エラー (レーザーに問題あり)	点滅	-	-	点灯
エラー (ファン障害)	点滅	-	点滅	-
エラー (過熱)	点滅	-	点灯	-

- 電源オフ:



- 温度警告:



追加情報

仕様

項目	説明
最大解像度	HDMI の場合、3840x2160@60 Hz
レンズ	<ul style="list-style-type: none">スロー比: 1.25 (広角) ~ 2.0 (望遠)F-停止: 3.0 ~ 3.1 (±5%)焦点距離: 18.72 ~ 29.59 (±5%)ズーム範囲: 1.6x
オフセット	0
画像サイズ	機構移動量: 80 インチ ~ 300 インチ (150 インチで最適性能)
投影距離	<ul style="list-style-type: none">機構移動量 2.20 m (広角) ~ 13.06 m (望遠)広角: 80 インチ (2.20 m) ~ 300 インチ (8.22 m)望遠: 80 インチ (2.20 m) ~ 300 インチ (13.06 m)
I/O	<ul style="list-style-type: none">USB Type-A x1<ul style="list-style-type: none">- 5 V/1.5 A 電源出力 (スタンバイモードでは電源出力はありません。)- サービス USB 2.0 速度USB Type-A x2<ul style="list-style-type: none">- USB 2.0 速度、5 V/0.9 A 電源出力- マルチメディア、Wi-Fi ドングル、Android TV プロセッサの FW アップグレードHDMI 2.0 x2<ul style="list-style-type: none">- HDMI 2.0/HDCP2.2、最大 3840x2160/60 入力- HLG/HDR10、HDR10+、MEMC、AI-PQ、低レイテンシーモード (約8.4 ミリ秒@1080p240)- ARC/eARC 出力HDMI 2.1 x1<ul style="list-style-type: none">- HDMI 2.1/HDCP2.2、最大 3840x2160/120 入力- HLG/HDR10、HDR10+、Dolby Vision、MEMC、AI-PQ、低レイテンシーモード (約 8.4 ミリ秒@1080p240)- ARC/eARC 入力RJ-45 x1<ul style="list-style-type: none">- LAN 制御: Control 4/ Crestron 2.0/ AMX Device Discovery/ Extron/ PJLink class2/ Web 制御/Telnet- IoT 制御: Optoma SmartHome、Alexa/Google Assistant- FOTA: Android TV プロセッサS/PDIF x1 (PCM、Dolby Digital をサポート)3D 同期 x1 (3D 同期信号出力、ミニ Din 3 ピン コネクタ)12V トリガ x2 (DC 出力3.5mm ジャック、メス、最大 12V/0.5A)オーディオ出力 x1 (3.5mm ジャック、メス、黒)RS232 x1 (オス (9ピン D-sub) タイプ)
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	<ul style="list-style-type: none">水平スキャン速度: 15.375 ~ 91.146 KHz垂直スキャン速度: 24 ~ 240Hz (1080P の場合 240Hz)
スピーカー	該当なし

追加情報

項目	説明
消費電力	<ul style="list-style-type: none">最大 (高輝度モード):<ul style="list-style-type: none">- 281W (標準)、323W (最大) @ 110VAC- 271W (標準)、312W (最大) @ 220VAC最小 (エコモード):<ul style="list-style-type: none">- 130W (標準)、150W (最大) @ 110VAC- 130W (標準)、150W (最大) @ 220 VAC
入力電流	3.8A
取り付け方向	フロント、リア、天井、リア - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	<ul style="list-style-type: none">リブを含む最大寸法 (脚を除く): 486 x 432.5 x 176 mm (19.1 x 17.0 x 6.9 インチ)リブを含む最大寸法 (脚を含む): 486 x 432.5 x 185.5 mm (19.1 x 17.0 x 7.3 インチ)
重さ	<ul style="list-style-type: none">正味重量: 11.5 kg±0.5 kg総重量: 14.8 kg±0.5 kg
環境	0 ~ 40℃、10% ~ 80% 湿度 (結露なし) で動作

注: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

追加情報

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

米国

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

☎ 888-289-6786
📠 510-996-4794
✉ services@optoma.com

カナダ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

☎ 888-289-6786
📠 510-996-4794
✉ services@optoma.com

中南米およびメキシコ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

☎ 888-289-6786
📠 510-996-4794
✉ services@optoma.com

ヨーロッパ

1 Bourne End Mills
Hemel Hempstead
Hertfordshire
HP1 2UJ
英国

☎ +44 (0) 1923 691 800
📠 +44 (0) 1923 691 888
✉ service@tsc-europe.com

www.optoma.eu

サービスダイヤル: +44 (0)1923 691865

Benelux BV

Optoma Benelux BV
Europalaan 770 D
1363BM Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

☎ +31 (0) 36 8200 250
📠 +31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

☎ +33 1 41 46 12 20
📠 +33 1 41 46 94 35
✉ savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro, 36 Of.1C 28529 Rivas
Vaciamadrid, Spain

☎ +34 91 499 06 06
📠 +34 91 670 08 32

ドイツ

Optoma Deutschland GmbH
Am Nordpark 3
41069 Mönchengladbach
Deutschland

☎ +49 (0) 2161 68643 0
📠 +49 (0) 2161 68643 99
✉ info@optoma.de

スキャンディナビア

Postboks 9515 Åskollen
Kniveveien 29
Drammen
3036
Norway

☎ +47 32 98 89 90
📠 +47 32 98 89 99
✉ info@optoma.no

韓国

<https://www.optoma.com/kr/>

日本

<https://www.optoma.com/jp/>

台湾

<https://www.optoma.com/tw/>

中国

Room 2001, 20F, Building 4,
No.1398 Kaixuan Road,
Changning District
Shanghai, 200052, China

☎ +86-21-62947376
📠 +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

オーストラリア

<https://www.optoma.com/au/>

